

## 目指すべき中学校のあり方

---

令和4年8月 豊山町中学校施設整備基本構想会議

1. はじめに	P 1
2. 学校施設を取り巻く課題	P 3
2.1 豊山町学校施設の課題	P 3
2.2 豊山中学校の課題	P 4
3. 豊山中学校の改築	P 5
3.1 基本方針	P 5
3.2 豊山中学校の目指すべき姿	P 6
3.3 「目指すべき中学校のあり方」の推進に向けて	P23

### 参考資料

1. 意見聴取の目的、実施概要及び聴取結果	P28
2. 町民アンケート概要及びアンケート結果	P39
3. 豊山町中学校施設整備基本構想会議設置要綱等	P53

---

# 1. はじめに

豊山中学校は、町内唯一の中学校として、昭和 38 年に竣工し、現在は築後約 60 年を経過している。これまでに随時修繕等を実施してきたものの、平成 30 年度に実施した「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」の調査を踏まえると、建物の老朽化が著しいことから、長寿命化改修の適正時期を過ぎていると思われる。学校施設は、単に児童生徒の学習の場にとどまらず、地域住民の生活に深く関わりがある施設でもあるため、将来の学校施設に求められる役割や機能を考慮し、新たに豊山中学校の改築整備を行うことが必要である。

現在の豊山中学校建設時から社会情勢や教育環境は大きく変化しており、また、ICT 技術の進歩等を踏まえた今後の新しい教育に対応できる学校施設の整備は喫緊の課題である。豊山町第 5 次総合計画では、基本施策である学校教育の項目で、新たな学びへの対応、教育環境の整備・充実、きめ細やかな教育の充実、地域に開かれた学校運営の推進などが掲げられている。

今後、豊山中学校の改築計画を進めていく上で、中長期にわたるトータルコストの縮減と財政負担の平準化を図りながら、防災や生涯学習など学校の多機能化にも配慮しつつ、整備を進めていくことが求められている。豊山町が平成 31 年 3 月に策定した「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」では、学校施設の目指すべき姿が次の 5 項目の観点から示されている。

- ①教育環境の質的向上 ②快適な学習空間・環境への配慮 ③地域コミュニティの拠点形成
- ④安全・安心な施設環境の確保 ⑤財政負担を軽減する効率的な施設・運営

豊山中学校改築に向けて、5 項目についてより具体的な内容としていくため、「豊山町中学校施設整備基本構想会議」を令和 3 年 6 月から計 8 回開催し、この間、委員からの専門的知見に基づく議論を重ねてきた。また、生徒・教職員や関係団体、保護者を始め、教育経験者から、よりよい中学校としていくためのご意見をお聴きし、更に町民へのアンケートを実施し、幅広く町民の意見を伺うことができた。この資料は、こうした過程を経て得られた検討成果をまとめたものである。

改築…本まとめて表記する「改築」とは、「公立学校施設整備事務ハンドブック」に基づき、既存施設の全部を取り壊し、更地にしてから同様の施設を造る工事を表している。

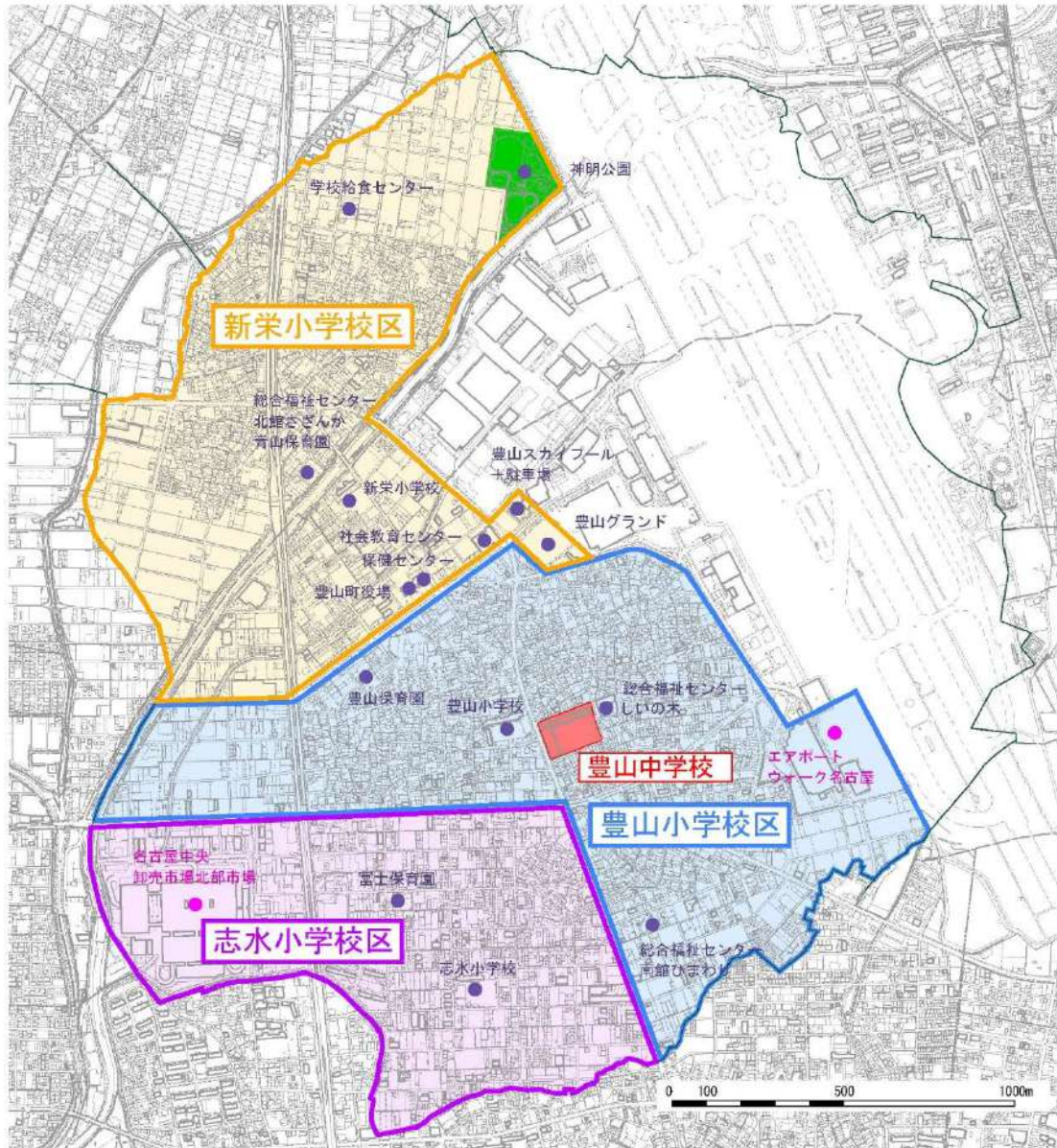


図 1.1 対象施設位置図

### 豊山中学校

所在地	愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字前池39	
用途地域	第一種中高層住居専用地域・第一種住居地域	
地域地区	第二種高度地区(H=20m)	
構造種別	RC造	
階数	4階建て	
敷地面積	15,946.00㎡	
延床面積	9,659.76㎡	
代表建築年度	1963年	
保有教室数	普通教室19室	特別教室18室
生徒数	535人(令和4年5月1日時点)	



## 2. 学校施設を取り巻く課題

### 2.1 豊山町学校施設の課題

豊山町学校施設を取り巻く状況は、平成31年度報告書でまとめられているが、改めて、豊山中学校が抱える課題を整理しつつ、目指すべき姿を策定していく。

#### 豊山町の人口

- ・ 今後は人口減少対策や町内の企業動向により増減が分かれる

#### 豊山町の財政

- ・ 社会保障分野の支出が大きく、土木・建設関係に充てられる財源は比較的少ない

#### 町内の公共施設の老朽化状況

- ・ 豊山中学校は築後約60年となっており、他の公共施設に比べ劣化状況が著しい

#### 生徒数の変化

- ・ 生徒数は近年増加傾向であるが、既存中学校では普通教室の確保が難しい
- ・ 将来は、人口減少対策を講じない場合は減少するが、同対策を講じる場合又は町内の企業動向などにより微増も予測される
- ・ 1学級数あたりの生徒数は愛知県基準に近い

#### 学校施設の保有量と将来の更新コスト

- ・ 既存豊山中学校は旧耐震基準の校舎である
- ・ 3小学校と合わせ、一斉に更新・改修時期を迎えようとしており、財政負担が大きい

#### 駐車場の確保

- ・ 職員駐車場をはじめ、豊山中学校では駐車場が不足している

#### 保有教室の活用状況

- ・ 豊山中学校では、余裕教室数やトイレの数が少ない状況である

#### 運営・活用状況に関する課題

##### 膨大な更新コストの低減・平準化

- ・ 従来どおりに保持する場合、膨大な更新コストが毎年かかる
- ・ 今後10年間に維持・更新コストが集中発生

##### 生徒数の変化への対応

- ・ 今後の人口変動を注視しながら、生徒数に対応した機能・規模に学校施設を適正化

##### 地域に開いた学校

- ・ 学校施設は地域住民のコミュニティ形成の拠点施設
- ・ 学校運営と地域利用を踏まえた機能・施設を検討

##### 教職員の執務環境向上

- ・ 駐車場の確保
- ・ IT化への対応

#### 老朽化に関する課題

##### 老朽化対策による安全確保

- ・ 豊山中学校は長寿命化が難しいことから、早急な建替えが必要となる

##### 室内環境の改善

- ・ 利便・衛生面の向上（雨漏り、トイレの環境向上等）
- ・ 増改築により生じた段差のバリアフリー化、エレベーターの設置

##### 多様な学習形態への対応

- ・ 社会ニーズに対応した学習環境の整備
- ・ ソフト・ハード両面での安全対策





## 2.2 豊山中学校の課題

豊山中学校は豊山小学校と同様、県道に面した賑やかな住宅地に位置している。付近には総合福祉センターしいの木、東部学習等供用施設がある。体育館（1994年竣工）にはアリーナのほか、武道場、屋内プール、屋上テニスコート、木工室を複合している。



### 運営状況について

- ・生徒数は増加傾向であり、全国平均以上である
- ・学級数は標準である
- ・現状、空き教室数は少ない

### 構造躯体について

- ・校舎の耐震補強工事は実施済み
- ・築年数が約60年となっており老朽化が著しい
- ・既存施設は漏水痕や躯体のひび割れが多数あり、比較的新しい体育館棟においても構造クラックが広範囲にわたっている

### 施設機能について

- ・体育館の屋内プールには可動式トップライトが取り付けられているが、現在はその機能を十分に果たしていない
- ・屋内プールの維持費が高い
- ・校庭の砂が飛散しやすく近隣の迷惑となっており、体育館や外階段にも砂が溜まり危険

### 周辺環境について

- ・隣接住宅への日影環境が不良である
- ・駐車場は現状不足している
- ・密集市街地に囲まれており、住宅地と隣接する部分に狭い道路が見受けられるため、工事を行う際に配慮が必要

### 3. 豊山中学校の改築

#### 3.1 基本方針

豊山町では学校施設の目指すべき姿の観点を次のとおり5項目に整理している。

5項目を更に課題ごとに分け、検討した結果について、改築計画上の標準事項は「基本項目」として区分し、基本構想や設計段階で検討を加える内容は「更なる検討項目」として記載した。

#### 学校施設の目指すべき姿

##### 1. 教育環境の質的向上

- ・多様な学習形態への対応
- ・特色ある教育環境
- ・生徒数に対応した空間の確保
- ・働きやすい執務環境

##### 2. 快適な学習生活空間・環境への配慮

- ・快適な学習生活空間
- ・環境への配慮
- ・だれもが使いやすい学校

##### 3. 地域コミュニティの拠点形成

- ・中学校と地域の連携・協働
- ・地域開放、地域施設との複合

##### 4. 安全・安心な施設環境の確保

- ・災害に対応した学校
- ・日常の安全性確保

##### 5. 財政負担を軽減する効率的な施設・運営

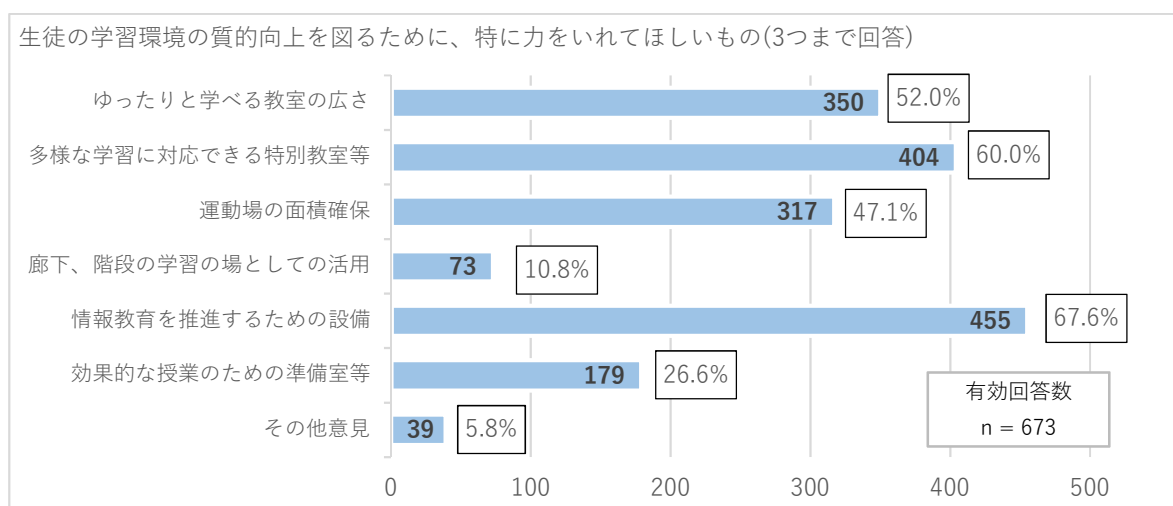
- ・計画的な整備、敷地利用の効率化
- ・維持管理に配慮した施設計画

## 3.2 豊山中学校の目指すべき姿

### (1) 教育環境の質的向上

教育環境の質的向上は、生徒の学力向上、豊かな人間性構築に不可欠である。また、教職員の執務環境を改善することにより、効率的で効果的な教育の実現を図ることができる。

町民アンケートの結果では、情報教育を推進するための設備、多様な学習に対応できる特別教室、ゆったりと学べる教室の広さが多く望まれており、新たな学習形態に対応できる学校施設機能が求められている。



#### ○多様な学習形態への対応

- ・新しい時代の学びの姿に対応するためには、教室間の間仕切りの仕様の検討や、様々な用途に利用できる多目的室の設置など、フレキシブルに利用できる学校施設が求められる。また、GIGA スクール構想に基づき整備したタブレットを、生徒の学習に有効利用できるよう各教室へのモニター設置のほか、大人数がアクセスしても安定した接続が保てる通信環境の整備や将来の通信技術の進歩にフレキシブルに対応できる計画が必要である。
- ・教室は多様な学習形態に対応する机、ロッカーなどの配置が可能な面積、形状等となるように計画することが求められる。
- ・学校施設に設置される各運動施設についても、様々な利用方法に対応できる機能が求められる。グラウンドは現状以上の面積を基本とし、体育館、武道場、プールについては財政負担や地域連携と合わせて検討する必要がある。



図 2.1 多様な学習形態に対応できる教室のイメージ

出典：文部科学省「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」最終報告 令和 4 年 3 月

## ○特色ある教育環境

- ・豊山町内にある生涯学習施設(社会教育センターなど)や他の公共施設等との連携が望まれる。また、町内唯一の中学校として、地域との連携も求められる。
- ・生徒が3年間の中学生生活で多くの時間を過ごすことから、親しみやすく記憶に残る正門の整備など、町内唯一の中学校として町のシンボルにもなる学校施設が求められる。

## ○生徒数に対応した空間の確保

- ・豊山町学校施設改築・長寿命化計画によると豊山中学校の生徒数は微増傾向にあり、2040年の525人をピークにその後は微減していくと推測される。新たな豊山中学校では、ピーク時の生徒数に対しても十分に対応できる施設を計画する必要がある。そのため、普通教室に加え、フレキシブルに利用できる余裕教室の確保や、ゆとりのある空間を計画する必要がある。また、普通教室及び机のサイズについては多様な学習形態を考慮した広さの計画が望まれる。
- ・障がいを持つ生徒に対しても、様々な障がいに対応した環境整備が求められる。また、普通教室と特別支援教室の配置についても、連携に留意した計画が求められる。

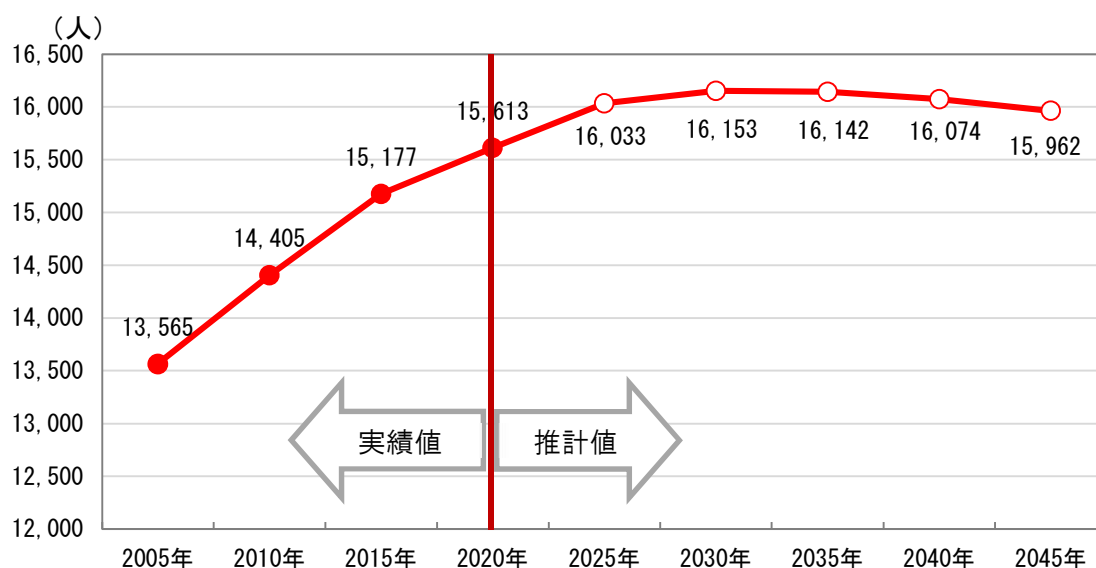


図 2.2 本町の総人口の推移

出典：「豊山町公共施設等総合管理計画」令和4年3月

本町の人口は、2020年には15,000人を超えている。将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2030年までは増加傾向が続き、以降は緩やかに減少しながら2045年には16,000人を下回る。



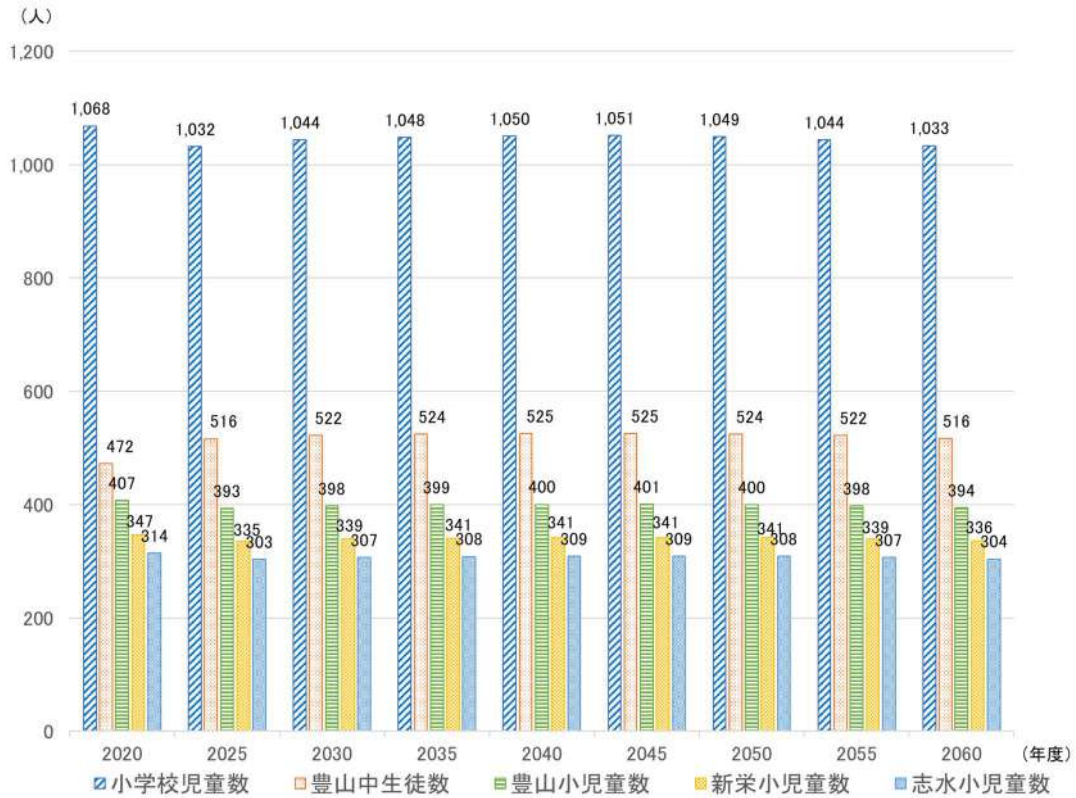


図 2.3 本町の独自推計ベースの児童・生徒数の推計

出典：2020 年度は文部科学省「学校基本調査」、2025 年度以降は豊山町教育委員会の推計資料

～2025 年度以降の推計方法～

- ・小学校児童数（総数）と中学校生徒数（豊山中）は豊山町学校施設改築・長寿命化計画による推計値
- ・小学校ごとの児童数は、2020 年度の小学校ごとの児童数の実績値から、小学校ごとの割合により算出

・1 学級あたりの生徒数

2021 年 3 月に改正義務教育標準法により、公立小学校の 1 学級あたりの上限人数が従来の 40 人から 35 人に引き下げられることが決まり、2021 年 6 月には政府の経済財政諮問会議で「経済財政運営と改革の基本方針 2021」が閣議決定され中学校への 35 人学級導入の検討などが盛り込まれることとなった。豊山町においても中学校 1 年生から 35 人学級の導入を進めている。

## ○働きやすい執務環境

- ・生徒や施設の管理、教職員の業務効率向上を図る上で、職員室をはじめ、保健室や印刷室など管理諸室を集約して整備することが望まれる。また、各々の執務空間もゆとりをもたせ、将来的な教職員の増加にも対応できる整備が望まれる。
- ・会議室や準備室、学年室(教職員用)の充実も求められる。多様化する教育環境に柔軟に対応するため、教職員が多目的に利用可能な共有スペース、リフレッシュや円滑な情報交換等ができる専用のスペースの整備も求められる。
- ・職員室は多くの関係者や生徒が訪れる場所であることから、入口に受付や相談スペースを設置するなど、訪問しやすい環境とすることも望まれる。
- ・屋外空間の改善として、教職員用の駐車場を十分な台数確保することや転回スペースの確保なども求められる。

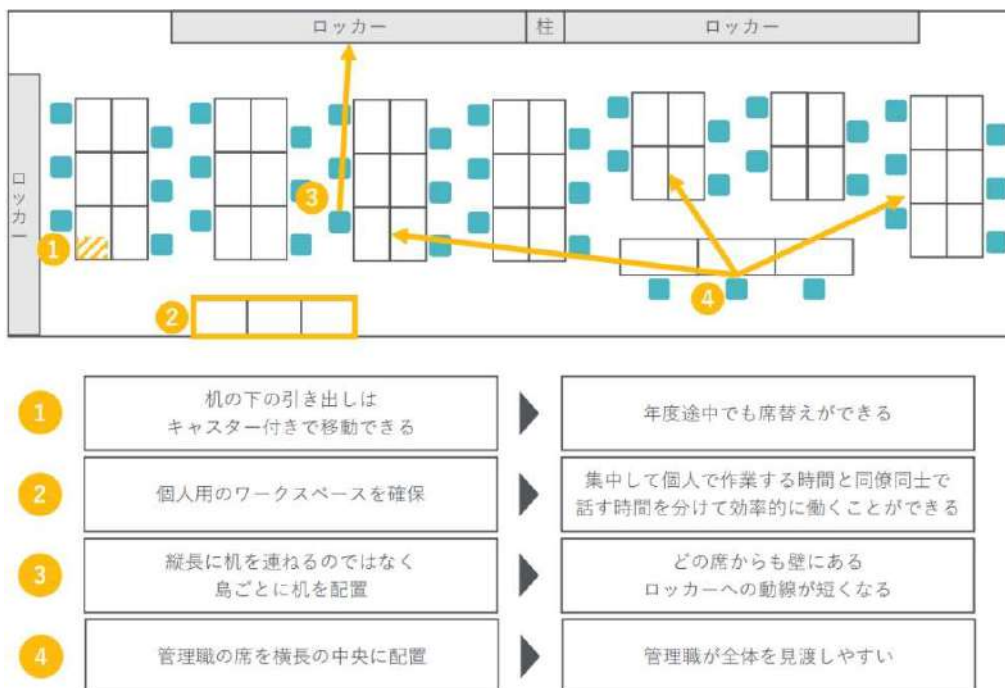


図 2.4 職員室事例  
出典：「文部科学省 全国の学校における働き方改革事例集」令和 3 年 3 月

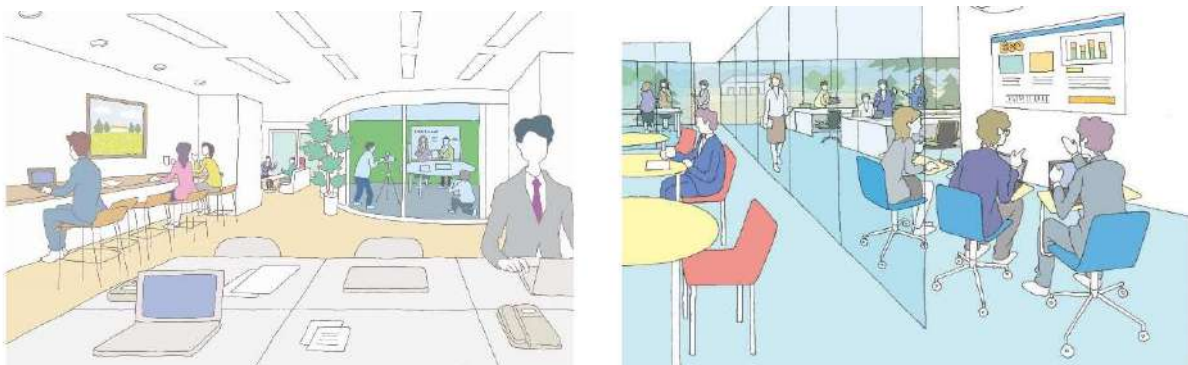


図 2.5 機能性の高い職員執務空間のイメージ  
出典：文部科学省「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」最終報告 令和 4 年 3 月

---

## a) 計画においての基本項目

- ・1学年180人前後を想定しつつ、各学年6クラス編成が可能な配置とする。
- ・生徒がゆったりと落ち着いて学べるよう、各教室は現状(約63㎡)以上の面積を確保する。
- ・同一学年は同一階に配置できるように余裕教室も考慮した計画とする。
- ・1クラスの生徒数は国の動向を踏まえ、35人を基準に計画する。
- ・現行の普通教室と特別教室を基本とした計画とする。
- ・普通教室の机サイズはタブレット、教科書、ノートが広げられる大きさを基準とする。
- ・特別教室及び準備室を充実させ、様々な教育ができるよう整備する。
- ・教室内のロッカーは使い勝手が良いようにできる限り大きく整備する。
- ・タブレットの有効利用ができるよう、モニターなどを含めた総合的なICT教室環境を計画する。
- ・読書活動を一層推進し、授業における図書室活用の拡大に向け、図書室機能を向上させる。
- ・廊下、階段等は幅を広くするなどにより、生徒の学習の場としての機能を確保する。
- ・現状以上の機能を基本としたグラウンドを計画する。
- ・障がいの種別に柔軟に対応できる教室を計画する。
- ・余裕教室は、今後の教育環境の変化を見込み多目的利用や少人数学習にも対応できるよう整備する。
- ・教職員が生徒の教育に集中できるよう、校務センター化や多目的に利用可能な共有スペースなど働く場所として機能的な職員室を整備する。また、将来の職員増加にも対応できるよう整備する。
- ・休憩室やシャワー、リフレッシュスペースなど、教職員の労働環境の質的向上を図る。
- ・教職員用駐車場の十分な台数確保、ゆとりある駐車スペースを確保する。

## b) 更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

- ・情報教育の推進と施設整備の在り方について整備計画を検討する。
- ・食育については給食センターと連携して情報発信を図ることを検討する。
- ・校訓の「創造・責任・健康」が新たな豊山中学校でも実現できる施設を検討する。
- ・体育館、武道場、プールは財政負担や地域連携と合わせて検討する。
- ・廊下側の開放などフレキシブルに利用できる教室を検討する。
- ・職員室の入口に、受付や相談スペースなどの設置を検討する。
- ・生徒の学習意欲向上のため、自由に使える自習室の整備を検討する。

## c) 更なる検討項目(基本設計段階)

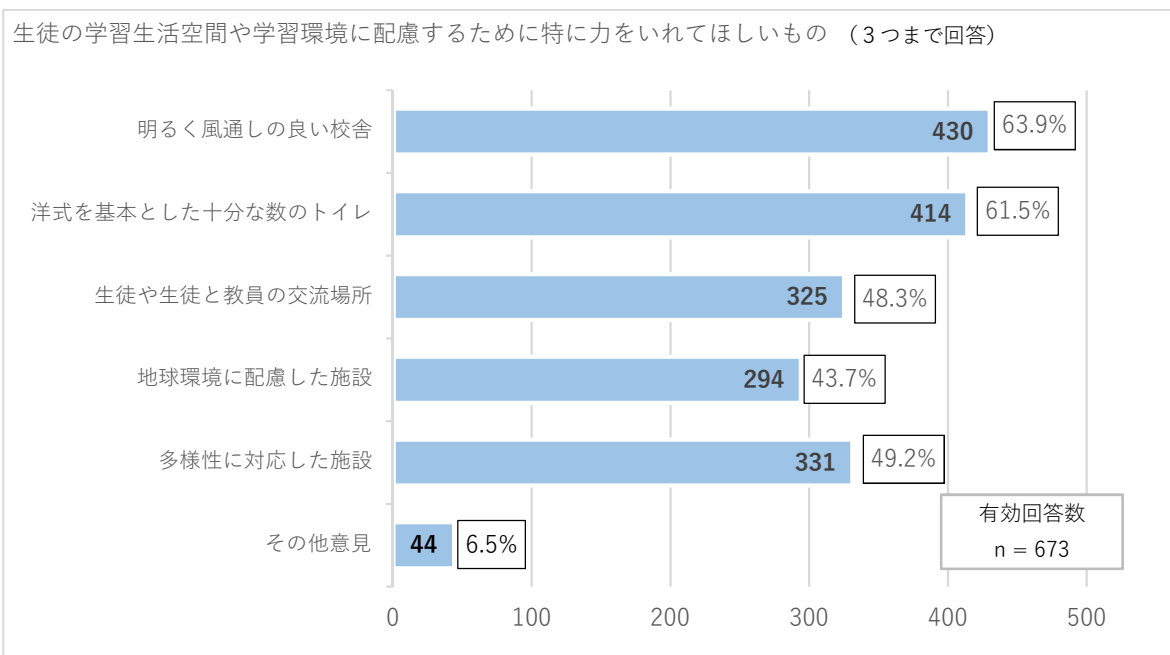
- ・プライバシーに配慮した相談室の設置を検討する。

## (2) 快適な学習生活空間・環境への配慮

生徒にとって日々の学習・生活の場所となる学校施設は、生徒の学習意欲を向上させるためにも、快適な環境づくりが必要である。また、トイレなどの汚れたイメージのある空間は明るく清潔に保ち、学習面だけではなく、生徒の精神面でも安心して利用できることが重要である。

環境面では、地球環境に配慮しつつ生徒への環境教育教材としても利用できる学校施設づくりを目指すべきである。

町民アンケートでは、明るく風通しの良い校舎、洋式を基本とした十分な数のトイレの要望が多く、生徒が日常的に利用する部分の環境向上が望まれている。



### ○快適な学習生活空間

- ・普通教室、特別教室など主要な教室は現状と同様に空調設備を導入し、一年を通して快適な学習空間を維持する。空調を利用しない期間は窓を開放し、自然換気や自然通風が行えるよう計画を進め、学習環境で特に重要な採光は、普通教室を南向きとして計画する必要がある。
- ・トイレでは、生徒数に対して十分な数の便器数の確保はもとより、明るく清潔なトイレへの要望がある。また、教職員からは設置場所について様々な観点から配慮するよう要望がある。
- ・学習施設の機能向上の一方で、生徒間や、生徒と教職員の交流の場所も望まれる。特に生徒間の交流場所は良好な人間関係の構築が図られることから、近年建設されている中学校施設では標準的に設置されていることが多くなっている。生徒と教職員の交流面では、授業内容や学校生活などが気軽に相談できる空間として設置が望まれる。

## ○環境への配慮

- ・日本では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることが目標として掲げられている。高い目標の達成には建物の性能に配慮することが必要となる。
- ・自然エネルギーの有効活用や省エネ対策など文部科学省が推進しているエコスクール事業の内容は一般化されてきており、生徒に対しての環境教育の面でも有効に活用されている。新たな豊山中学校では、一般的な環境配慮項目の採用や木質化、木造化なども併せて検討する必要がある。

## ○だれもが使いやすい学校

- ・国の目標として、令和7年度までに公立中学校施設での車いす使用者トイレ、スロープ等の段差解消、エレベーターの設置が掲げられており、学校を利用する全ての人に対して、やさしい学校施設となるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化への対応が求められることから、標準的な内容の採用に加え、LGBTQ対応トイレの設置や複数言語のサインなど、更なる機能向上を図る必要がある。



図 2.6 太陽光発電の環境教育への活用、地域材を利用した内装のイメージ

出典：文部科学省「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」最終報告 令和4年3月

LGBTQ…レズビアン（同性を好きになる女性）、ゲイ（同性を好きになる男性）、バイセクシュアル（両性を好きになる人）、トランスジェンダー（出生時に割り当てられた性と性自認が一致しない人）、クエスチョニング（自身の性自認・性指向が決まっていない）／クィア（既存の性のカテゴリに当てはまらない）の頭文字で、性的指向（好きになる相手の性別）やジェンダー自認（自認する性別）に関する人たちの総称。



---

### a) 計画においての基本項目

- ・普通教室、特別教室には空調設備を設置する。
- ・校舎は自然採光、自然換気により明るく過ごし易い環境にする。
- ・普通教室は南向きを基本とし、教室内で十分な自然光が取り入れられる計画とする。
- ・トイレ器具は洋式を基本とし、生徒数に対して十分な数の器具を設置する。
- ・トイレ内の床は乾式とし、清掃しやすく衛生的な施設を計画する。
- ・トイレは、広く明るい空間を計画する。
- ・多様性に配慮したトイレの設置を行う。
- ・バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を徹底する。
- ・個別の配慮を必要とする生徒が利用できる部屋を整備する。

### b) 更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

- ・ロビーにベンチを設置するなど、生徒間や生徒と教職員の交流場所の整備を検討する。
- ・エコスクールやZEB化など環境に配慮した施設整備を行い、環境教育の教材としても利用できる学校に向けた検討を行う。
- ・校舎の構造についてRC造、S造の他、木造も検討する。
- ・敷地内の緑化、建物内の木材利用など自然環境に配慮した計画を検討する。
- ・多目的ホールの複数設置など、様々な学習に対応できる環境整備を検討する。

### c) 更なる検討項目(基本設計段階)

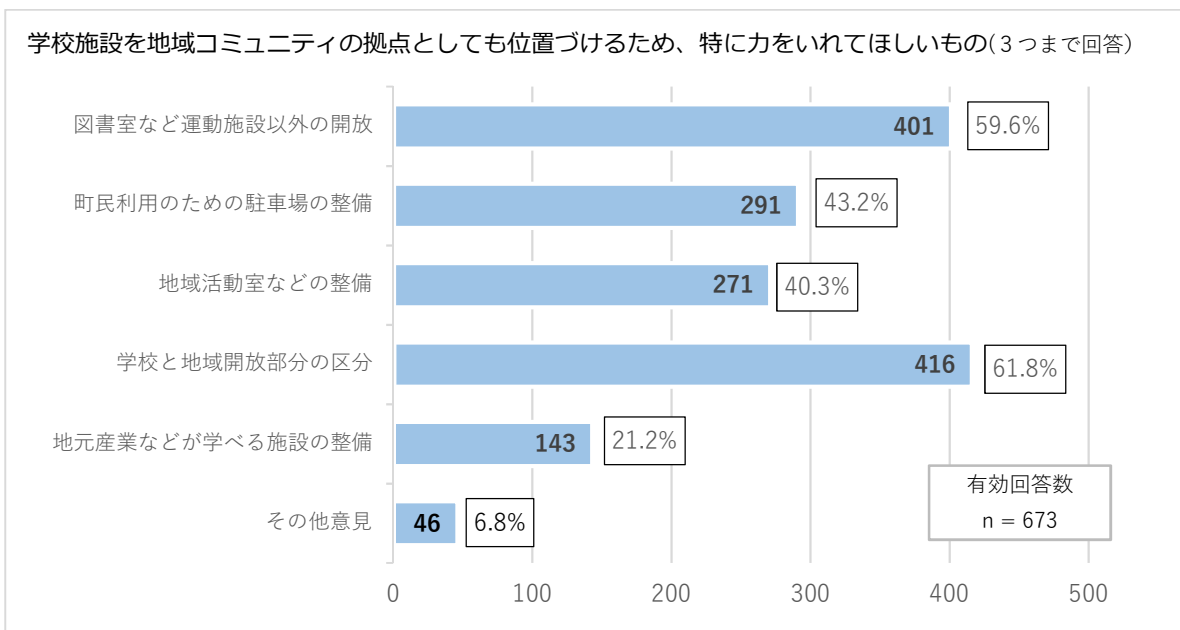
- ・和式トイレの設置を検討する。
- ・学校のデザイン案に生徒の意見も取り入れるための生徒向けのワークショップ等の開催を検討する。
- ・空港に近いことから、教室等の防音対策を検討する。

ZEB…Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー(建物で使用する機械設備等の電気消費量)の収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

### (3) 地域コミュニティの拠点形成

学校施設は、生徒の学びの場だけではなく、地域のコミュニティの拠点としても位置づけられ、日頃から学校開放などで多くの町民に利用されている。新しい中学校でも、これまでと同様に学校を開放し、町民が様々な活動で利用できるよう整備することが重要である。

町民アンケートでは学校と地域開放部分の区分を明確にすることが特に望まれており、セキュリティ面での対策が必要だと考えられる。また、図書室などの運動施設以外の開放も求められており、町内の他施設との連携も含めて今後の検討が必要である。



#### ○中学校と地域の連携・協働

- ・地域開放施設は利用者へのヒアリングや構想会議から、現在豊山中学校で学校開放を行っている運動施設の他にも、町民が利用できる地域活動室やボランティアルームなどの設置が求められる。コミュニティスクール化を実施していくためには、町民が学校へ積極的に参画できる環境が重要なことから、町民利用施設は今後継続して検討する必要がある。一方でセキュリティの観点から、町民が自由に使用できる空間の区分けは明確に行うことが必要となる。出入口も生徒や教職員との交錯を避けるため専用出入口を設けたほうが良いとの要望もある。
- ・学校への参加促進、利用者への配慮として、来訪者が利用しやすい駐車場の整備が求められる。
- ・一般的な地域開放では教職員に対する負担も考慮し、地域が協力してくれる学校づくりとして、地域と学校の話合いの場を設けるなど、学校施設の地域開放には学校運営のソフト面の考え方も重要である。
- ・地域の特性を活かした教育として、地元の産業や歴史について学べる機会の創出が期待されており、そのような観点からも地域開放施設の整備を検討する必要がある。

## ○地域開放、地域施設との複合

- ・生涯学習の観点から、運動施設としてのグラウンドや体育館・武道場などを町民が利用できる施設として開放することが求められる。また、図書室などの開放も期待される。
- ・町内には社会教育センター等の生涯学習施設があり、体育館や図書室などが整備されている。他の公共施設等との複合化の面から、新たな豊山中学校への体育館や図書室などのあり方を検討する必要がある。



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が開ける共創空間のイメージ



他の公共施設との複合化・共用化を図り、多様な「知」を集積する共創空間のイメージ

図 2.7 地域とともに創造する共創空間のイメージ

出典：文部科学省「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」最終報告 令和4年3月

### a) 計画においての基本項目

- ・地域開放部分と学校利用部分はセキュリティ区分を明確に計画する。
- ・地域利用者専用の出入口を設け、生徒・教職員との動線交差に配慮する。
- ・十分な数の駐車場を整備し、地域開放や学校行事等で町民が訪問した際に利用できるよう計画する。
- ・グラウンド、体育館等は地域開放ができるよう町民の利用も考慮した配置計画とする。

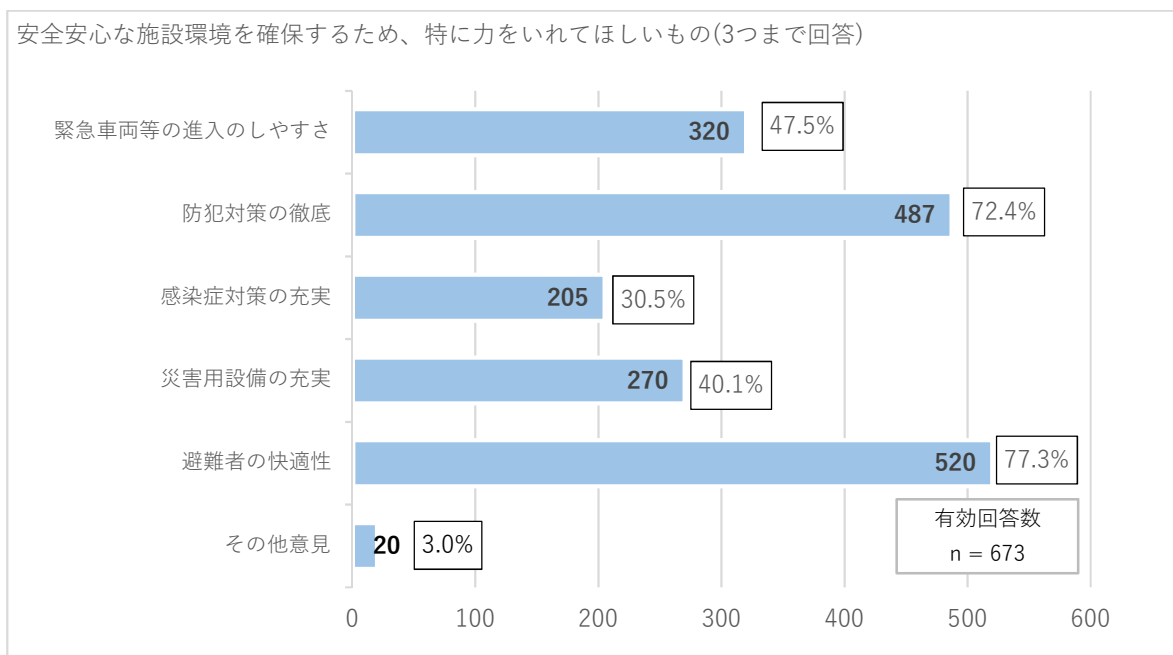
### b) 更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

- ・町民が自由に利用できる地域活動室を設置するか検討する。
- ・地域のボランティアが利用するボランティアルームの設置を検討する。
- ・学校内に町民が利用できるコミュニティ広場など、学校と地域の交流空間設置を検討する。
- ・町の生涯学習施設機能の一部としてコミュニティスクール化を今後検討し、セキュリティ面では地域の協力が得られるか検討する。
- ・地元の産業や歴史について学べる機会を創出するための施設整備を検討する。
- ・記念碑や記念樹木のあり方について検討する。
- ・地域開放にて利用する各団体の器具保管スペースを確保できるか検討する。
- ・体育館や図書室など他の公共施設等との複合化による効果について今後継続検討する。

#### (4) 安全安心な施設環境の確保

大規模な災害が発生した際に、学校施設が安全に継続して利用ができるように、また、町の指定緊急避難所として万全の災害対策が取られた計画が必要となる。新たな豊山中学校では、災害時だけではなく、日々の生活の中でも、生徒が安心して過ごすことができる学校となるよう計画を立てることが重要である。

町民アンケート結果では、災害発生時の避難者が快適にすごせる環境が望まれている。また、日常の安全確保の面から、徹底した防犯対策も求められており、今後の検討が必要である。



#### ○災害に対応した学校

- ・災害の中でも特に人命に影響する地震への対応として、耐震構造による学校施設の計画が望まれる。学校施設は、避難所として利用されることから、中学校の改築に当たっては、文部科学省が定める耐震基準を遵守した上で更なる安全対策を講じる必要がある。
- ・災害発生時の避難所の多くは体育館が利用されているが、更衣室やシャワー、トイレなどの設置の要望がある。また、災害時であっても空調設備の利用や障がい者が不便なく利用できる施設も求められる。
- ・災害発生後に通常授業を再開するためには、避難所として利用される部分と学校として利用する部分の区域を明確にする検討が必要である。

### 断水時のトイレ



プライバシーを確保し、屋内にマンホールトイレを設置  
＜愛知県大府市＞

### 電力の確保



浸水対策として屋上に設置されている自家発電設備  
＜三重県四日市市＞



停電時に電源車に接続するための電源接続盤  
＜新潟県長岡市＞

### バリアフリー



避難所生活を想定した体育館の多目的トイレ  
＜鹿児島県曾於市＞

### LPガスの活用



都市ガスエリアでも災害時にLPガスを使用できるように変換機の接続口を整備  
＜新潟県長岡市＞

### 飲料水の確保



停電時にも給水が可能な応急給水栓  
＜愛媛県松山市＞

### 体育館冷暖房



LPガスを用いた体育館の空調システム  
＜大阪府箕面市＞

### 備蓄



非常時の食料、飲料水、毛布等の備蓄スペース  
＜愛知県大府市＞

図 2.8 学校施設での災害対策事例

出典：「文部科学省 避難所となる学校施設の防災機能に関する事例集」令和2年3月

## ○日常の安全性確保

- ・学校内への不審者侵入防止対策として、校門を職員室から視認しやすい位置に設置、学校周囲のフェンスを乗り越えられない高さとするなど、教職員や保護者から特に強い要望がある。一方、地域とのつながりを重視するには開放性も必要となるため、運営面での対応方法を含め検討が必要となる。
- ・感染症対策として、十分な手洗い場の設置が求められる。
- ・敷地内への緊急車両進入の場合を想定し、消防車等が通れる門の広さや周辺道路からの進入のしやすさ等が求められる。



---

### a) 計画においての基本項目

- ・校舎は耐震構造を基本とし、重要度係数は文部科学省の構造設計指針に則り 1.25 以上とする。
- ・避難所として必要な機能、施設について、防災担当部局と連携しながら計画する。
- ・窓をはじめとする開口部からの侵入防止、地域開放に伴う利用者の増加に対して適切な安全性が確保できるよう計画する。
- ・生徒、教職員及び学校施設利用者のプライバシーに最大限配慮しつつ、不審者侵入の防止を図るため、防犯カメラを適所に設置する。
- ・感染症対策として有効である手洗い場を適所に設置する。
- ・保健室と職員室を近接させるなど、生徒の安全管理に目が届きやすい環境を整備する。
- ・緊急車両が通れる門の広さ、周辺道路からの進入のしやすさに配慮する。

### b) 更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)

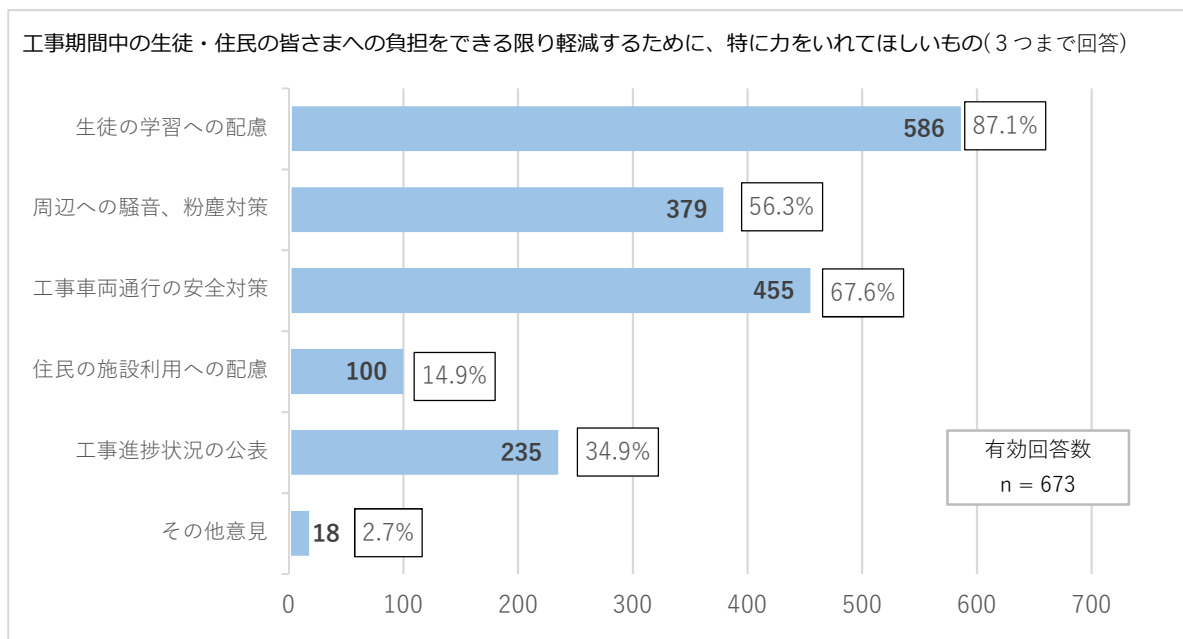
- ・避難所となる体育館に災害時も利用できる空調設備(大人数利用も考慮)の設置を検討する。
- ・災害発生時の拠点として、避難者が安全・安心に利用できるよう災害備蓄倉庫や設備の設置を検討する。
- ・災害発生後でも早期に授業開始が可能となるよう教室と避難場所の適切な区分けを検討する。

重要度係数…建物の重要度に応じて必要保有水平耐力を割り増す係数

## (5) 財政負担を軽減する効率的な施設整備・運営

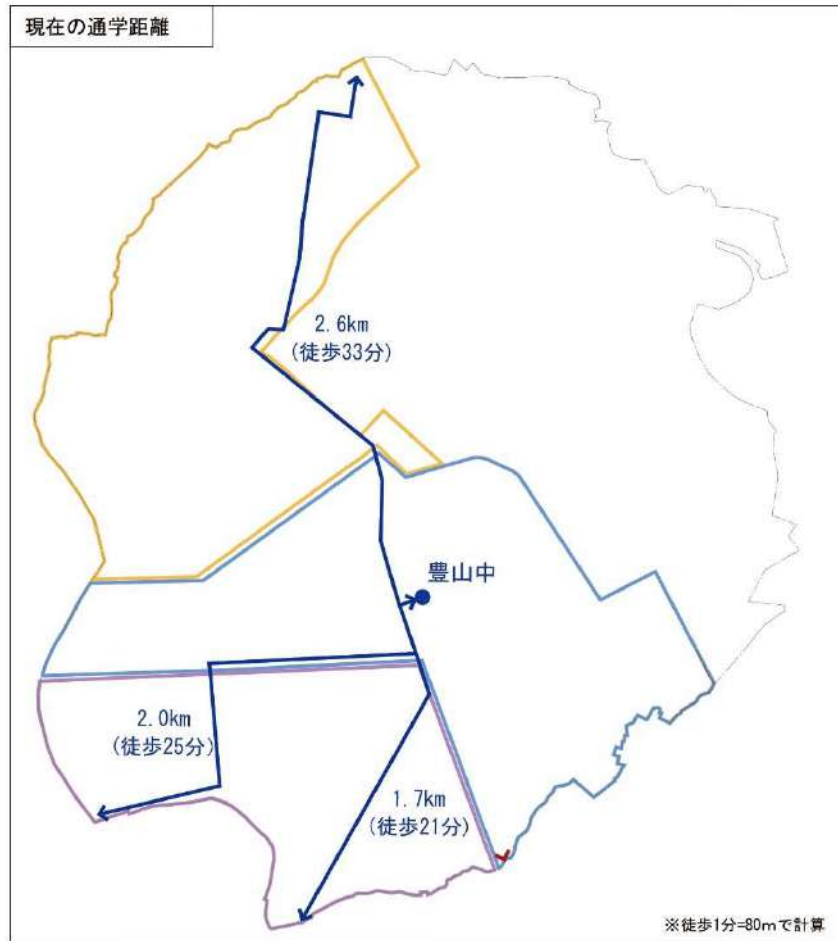
新たな豊山中学校建設は、建設費用、将来的な維持管理費用ともに町の財政への負担が大きな事業となる。適切な事業手法の選定や効率的な施設整備・運営がなされないと、将来的には町の財政状況に大きな影響を与える可能性がある。そのため、事業手法及び施設整備・運営を最適化した上で事業を進めていくことが重要である。

町民アンケートでは、工事期間中であっても生徒の学習への配慮を特に力を入れてほしいとの結果であった。工事中の車両通行の安全対策や、周辺への騒音・粉塵対策と合わせ、生徒や周辺住民への影響を最小限に抑える計画が必要となる。



### ○計画的な整備、敷地利用の効率化

- ・ゆとりのある学校の整備は教育環境、学習環境として理想的ではあるものの、一方で学校全体の床面積が増えると建設時の工事費も増加する。生徒・教職員へのヒアリングにより、要望として挙げられた教室の確保は前提としつつ、共用化が図られる教室の配置など効率的に学校が機能できるよう計画する必要がある。
- ・改築期間中の学習環境、学校生活について、生徒や保護者から心配の声があることから、生徒の負担を極力減らす配慮が必要である。
- ・改築工事を行っている際の安全性についても教職員、保護者から要望がある。改築工事に当たっては、町民及び生徒に対して工事中に大型車両が通る際の安全確保が十分になされるか、校庭の利用ができるか等の検証が必要である。
- ・新たな豊山中学校の建設場所については、工事期間中の学習環境、学校生活への影響のほか、町の財政に与える影響が大きな課題となる。現地建替えの場合は仮設校舎の費用、新規の土地取得では買収費用など多額の費用を要することとなる。今後、財政負担の視点からも建設場所について具体的な検討を行う必要がある。



- ・通学距離の上限  
 小学校で概ね 4 km、中学校では概ね 6km  
 (文部科学省：平成 27 年公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きより)  
 現状の豊山中学校はどの地区からでも通学距離の上限内となる位置に設置されている。

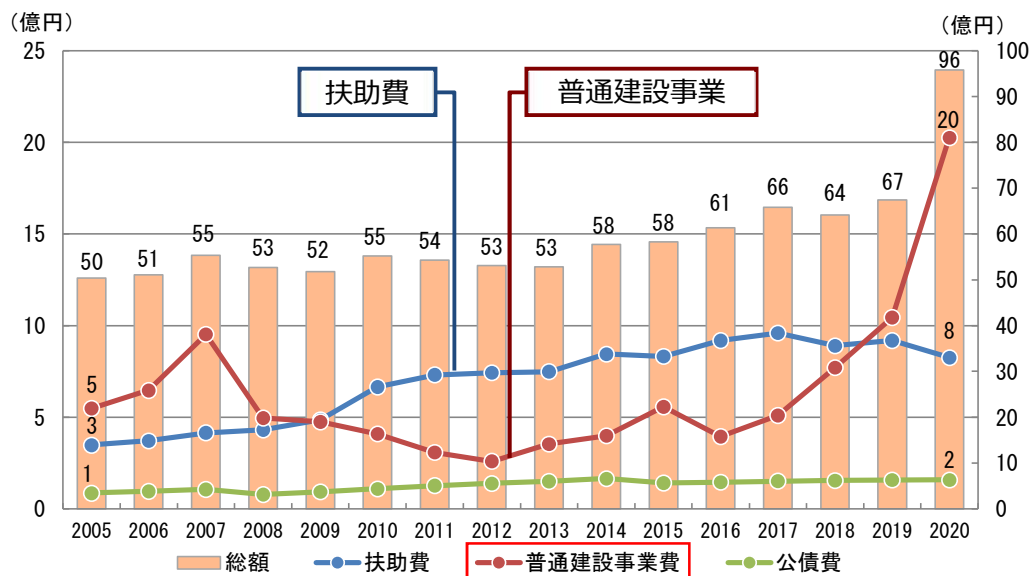


図 2.9 本町の歳出(性質別)の推移と内訳

出典：「豊山町公共施設等総合管理計画」令和 4 年 3 月

## ○維持管理に配慮した施設計画

- ・豊山町学校施設改築・長寿命化計画では学校施設の想定耐用年数を80年と定めている。建築物は定期的なメンテナンスが必要のため、適切な時期に適切な改修を行うことができるよう、中長期の修繕計画を立案し、将来の修繕費用を把握するとともに、町の財政への影響が最小限となるよう計画する必要がある。
- ・学校施設の維持管理にかかる費用は、建設費用を1とした場合、維持管理にかかる費用はおおよそ1.8となる。そのため、新たな豊山中学校建設では、維持管理費全体の縮減を図れるよう、メンテナンス性に優れた建材の使用や、効率的な配置となる平面計画などを行う必要がある。
- ・ICT教育に対応する機器は、設置型を採用すると将来の機器更新の際に利用ができなくなる可能性があることから、普通教室や職員室などはゆとりをもたせ、将来の更新に対応できる計画が求められる。

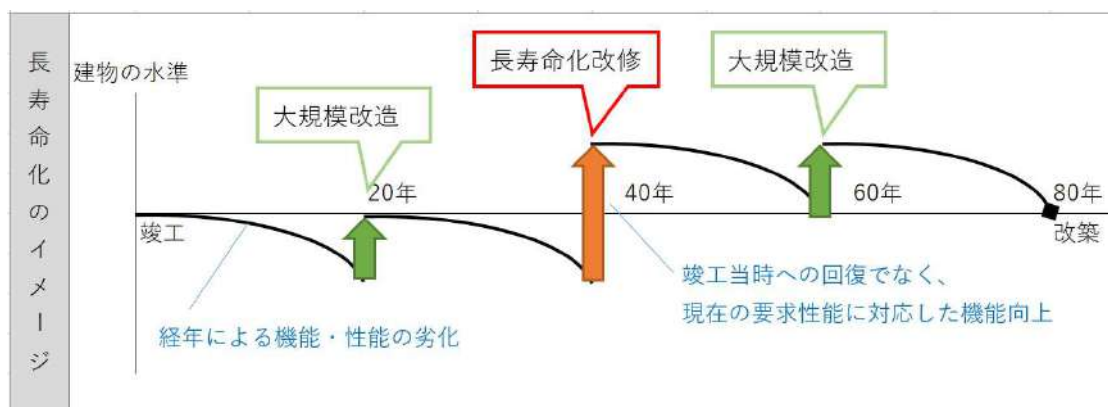


図 2.10 建物の更新時期のイメージ

出典：「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」平成31年3月

---

### **a) 計画においての基本項目**

- ・ 余裕教室を考慮した計画とし、効率的で将来の改修も考慮した学校施設計画を行う。
- ・ 中長期修繕計画を作成し、改築時より将来発生する維持管理費用を想定する。
- ・ 維持管理費削減が図れるメンテナンス性に優れた建材を利用する。
- ・ 機器更新の際に大規模な改修が発生しないよう、ゆとりをもたせた教室を計画する。
- ・ どの生徒も通学の負担が少ない場所、安全な通学路が確保できる場所に学校を計画する。
- ・ 工事期間中であっても、行事の中止や教室の明るさ確保など、生徒の学習環境に与える影響を最小限に抑える計画を行う。

### **b) 更なる検討項目(基本構想・基本計画段階)**

- ・ 効率的な平面計画・配置計画を行い、適正な規模、工事費となるよう検討する。
- ・ 新たな豊山中学校建設地については、工事期間中の学習環境や財政負担の視点から検討する。
- ・ 町の財政状況を踏まえた最適な事業手法を選定する。
- ・ 体育館、武道場、プールのあり方については、町の財政負担にも考慮した計画を検討する。
- ・ 周辺環境への影響を最小限に抑えられるよう適正な学校の高さを検討する。

### **c) 更なる検討項目(基本設計段階)**

- ・ 改築工事中の騒音、粉塵、車両通行など町民が安全・安心に生活できる環境への配慮を検討する。



---

### 3.3 「目指すべき中学校のあり方」の推進に向けて

#### (1) 目指すべき姿を実現するための課題

豊山中学校の目指すべき姿では、新たな学習形態に対応した学校とするため、普通教室、特別教室の大きさを現状より大きくしていくことが掲げられている。また、学習機のサイズもタブレット利用などが進み、現状の大きさでは対応が不十分となることから、学習機も大きくすることが求められている。新たな学習形態に対応した施設を計画するためには、新しい中学校の延床面積は、現状よりも大きな規模となる可能性がある。

#### (2) 建設候補地の検討

豊山中学校の改築では、建設候補地の検討も重要な項目となる。目指すべき姿を十分に反映した豊山中学校とするためには、敷地面積はこれまでの検討を踏まえ、現状以上の面積が望ましいと考えられる。そのため、現地での改築の他、現状以上の面積を確保することが可能な場所も候補地として検討が必要である。また、町内唯一の中学校施設であることから、どの生徒も通学の負担が少ない場所、工事期間中も生徒が学習生活を通常どおりにできる環境を確保することが重要であるため、建設場所については、複数の要素を基に検討することが必要となる。

現時点での建設候補地として、1.現豊山中学校 2.現にある町有地のうち 5,000 m<sup>2</sup>以上の一団の土地(豊山スカイプール+駐車場、豊山グラウンド) 3.その他 の3か所について比較検討を行っており、その内容は豊山中学校改築候補地及び同比較表のとおりである。

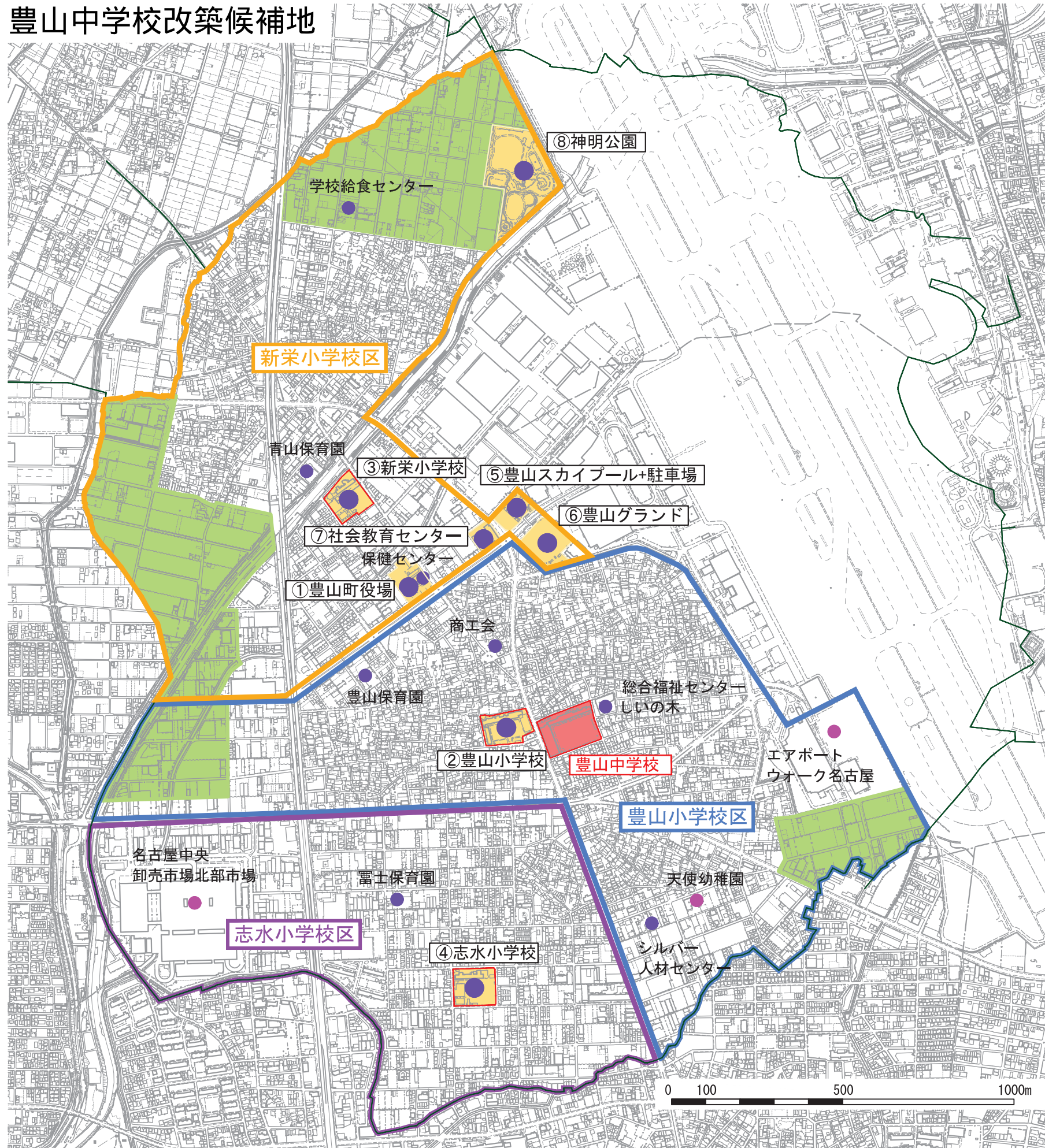
#### (3) 事業手法の検討

事業手法も重要な項目の一つで、豊山町の財政状況を鑑みると、2020年の普通建設事業費が20億円規模であり、中学校改築及び3小学校の長寿命化改修等により、これまで以上の支出が増える状況となる。そのため、豊山中学校の改築では、各事業手法のメリット・デメリットを踏まえつつ、具体的な計画案が進み次第詳細な検討が必要となる。

従来方式、DB方式、PFI方式、リース方式の4方式についての説明等は各事業手法比較表のとおりである。



# 豊山中学校改築候補地



## ○候補地比較

候補地 1 (現豊山中学校)	
所在地	豊山町大字豊場字前池 3 9
面積	15,946.00㎡(4,823.67坪)
用途地域等	第一種中高層住居専用地域、二種高度地区 (H=20m)
都市計画等： 特定都市河川流域	

候補地 2 (現にある町有地のうち5,000㎡以上の一団の土地)		
①	庁舎	9,394.51㎡(2,841.84坪)
②	豊山小学校	12,807.00㎡(3,874.12坪)
③	新栄小学校	11,207.00㎡(3,390.12坪)
④	志水小学校	13,348.00㎡(4,037.77坪)
⑤	豊山スカイプール+駐車場	7,697.70㎡(2,328.61坪)
⑥	豊山グランド	14,319.00㎡(4,331.50坪)
⑦	社会教育センター	5,216.64㎡(1,578.03坪)
⑧	神明公園	42,166.34㎡(12,755.32坪)
都市計画等： 特定都市河川流域		

候補地 3 (その他)	
所在地	豊山町地内
面積	25,000~30,000㎡(7,562.5~9,075坪)程度
用途地域等	市街化調整区域
都市計画等： 特定都市河川流域	

■凡例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red; border:1px solid black;"></span>	現豊山中学校
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow; border:1px solid black;"></span>	現にある町有地のうち5,000㎡以上の一団の土地
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:lightgreen; border:1px solid black;"></span>	市街化調整区域
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:blue; border-radius:50%; border:1px solid black;"></span>	主な町有施設
<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:purple; border-radius:50%; border:1px solid black;"></span>	その他の主要な施設



豊山中学校改築候補地比較表

項目		候補地1(現豊山中学校)	候補地2(豊山スカイプール+駐車場、豊山グラウンド)	候補地3(その他)
敷地環境	① 敷地条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町のほぼ中央に位置している。</li> <li>・整形地であるが、面積に余裕が無い。</li> <li>・周辺に住宅が多く、日照・騒音・砂塵などに留意する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町のほぼ中央に位置している。</li> <li>・面積は十分であるが、敷地が道路で分かれるため、歩道橋が必要。</li> <li>・周辺に工場があり、対策が必要となる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の外縁に学校が設置される。</li> <li>・周辺は農地環境であり日当たり、照明設備等の影響を考慮する必要がある。</li> <li>・工場、物流倉庫等が点在しており、対策が必要となる可能性がある。</li> </ul>
	② 通学距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の基準（概ね6km）の半分以下の距離で通学可能</li> <li>・通学距離の地域差に大きな偏りは生じない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の基準（概ね6km）の半分以下の距離で通学可能</li> <li>・通学距離の地域差に大きな偏りは生じない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の基準（概ね6km）以下の距離で通学可能</li> <li>・通学距離の地域差に大きな偏りが生じる。</li> </ul>
	③ 地震や洪水による被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震：最大クラスの地震時に震度6弱</li> <li>・液状化：液状化の可能性は極めて低い</li> <li>・洪水：最大で0.5～1mの浸水が発生。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震：最大クラスの地震時に震度6弱</li> <li>・液状化：中程度の液状化の可能性はある</li> <li>・洪水：最大で0.3m程度の浸水が発生。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震：最大クラスの地震時に震度6弱</li> <li>・液状化：液状化の可能性はほとんどない</li> <li>・洪水：最大で0.5～3mの浸水が発生。</li> </ul>
	④ 周辺の道路状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地西側の県道は、朝夕を中心に交通量が多いが十分な歩道が設置されている。</li> <li>・北側道路は幅員が狭く車両の交互通行が困難な生活道路であり、東側南側道路は、一方通行の生活道路である。</li> <li>・県道側の門が狭いため、大型車両は東及び南側の道路よりアプローチすることになるが、幅員が十分でないためアクセスに難がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地に面する県道は、朝夕を中心に交通量が多いが十分な歩道が設置されている。</li> <li>・敷地に面する町道は、歩道が整備された幹線道路若しくは交通量の少ない生活道路である。</li> <li>・大型車両の搬入出は比較的容易となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅員に余裕がある道路もあるが、必ずしも十分な歩道は整備されていない。</li> <li>・物流倉庫や商業施設が近隣にあり、交通量が多い道路もある。</li> </ul>
計画条件	建替手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設校舎を現地に設置</li> <li>・校舎棟：改築、体育館棟（体育館・武道場・プール）：大規模改修工事（体育館棟の計画は平成31年3月に策定した「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」による。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎棟、体育館棟：改築（体育館・武道場・プールを設置）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎棟、体育館棟：改築（体育館・武道場・プールを設置）</li> </ul>
	想定学校建物規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎棟：約10,000㎡</li> <li>・既存体育館棟：約4,300㎡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎棟：約10,000～13,000㎡程度（体育館・武道場・プール含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎棟：約10,000～13,000㎡程度（体育館・武道場・プール含む）</li> </ul>
学校運営	A 校舎配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西側に既存体育館があり、設計上の自由度は低い。</li> <li>・運動場を確保するために、1フロアあたり2,300㎡が限度となる。そのため、4F以降の上層階は日影規制により1,250㎡程度が限度となり校舎が高層化する可能性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎、運動場等の配置は設計により自由度がある。</li> <li>・敷地が道路により分かれている点で一部制約がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎、体育館、グラウンドの配置は設計により自由度がある。</li> </ul>
	B 運動場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動場は既存よりも小さくなる。</li> <li>・テニスコートは2面程度確保可能（現状と同じ）</li> <li>・200mトラック、100m直線設置可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコートは3面程度確保可能</li> <li>・サッカーコートと野球グラウンド(マウンド)が干渉しない</li> <li>・200mトラック、100m直線設置可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコートは3面程度確保可能</li> <li>・校舎と野球グラウンドは分離できる</li> <li>・200mトラック、100m直線設置可能</li> </ul>
	C 駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計により学校が求める台数（65台程度）分の確保は可能</li> <li>・地域開放専用駐車場を確保することは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計により学校が求める台数（65台程度）分の確保は可能</li> <li>・設計により、地域開放専用駐車場の確保は可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的余裕がある敷地条件であるため、十分な台数の確保は可能</li> </ul>
	D 学習環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地に余裕がないため、ゆとりのある教室等の整備が難しい。</li> <li>・校舎が高層化するため、授業間の移動時間が多くなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地は十分であり、ゆとりのある教室等の整備が可能である。</li> <li>・校地が分かれる部分については非効率な面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地は十分であり、ゆとりのある教室等の整備が可能である。</li> </ul>
	E 生活環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地に余裕がないため、生徒の交流場所やトイレの場所等についての自由度が低い。</li> <li>・通風、採光は良好に確保できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地は十分であり、生活環境に配慮した計画が可能</li> <li>・通風、採光は良好に確保できるが、周辺に工場があるため、必要に応じた対策が必要となる可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地は十分であり、生活環境に配慮した計画が可能・通風、採光は良好に確保できるが、周辺に工場、物流倉庫等が点在しており、対策が必要となる可能性がある。</li> </ul>

項目		候補地1(現豊山中学校)	候補地2(豊山スカイプール+駐車場、豊山グランド)	候補地3(その他)
工 事	1 用地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得費はかからないが、工事期間中の運動場等の用地の手当てが別途必要</li> <li>・下水道は整備済み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得費はかからないが、造成が必要である。</li> <li>・雨水貯留施設が必要となる可能性がある。</li> <li>・下水道整備予定あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得費と造成が必要</li> <li>・雨水貯留施設が必要</li> <li>・開発協議が必要</li> <li>・下水道整備予定なし</li> </ul>
	2 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存豊山中学校敷地内での建替及び改修となり、3年程度の工事期間中、約2年間生徒が仮設校舎で生活するため学習活動への負担が生じる。</li> <li>・一時的に、運動場、体育館棟の使用ができなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町有地での移転新築のため、工事期間中の学校生活に対する影響はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな敷地での移転新築のため、工事期間中の学校生活に対する影響はない。</li> </ul>
	3 周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地周囲は住宅地に接しているため、工事中の騒音等の影響が大きい。</li> <li>・工事進入路は、住宅地の中を通るルートとなり、車両の通行に注意が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲に住宅が少ないため、騒音等の影響は少ない。</li> <li>・近隣の事業者への配慮は必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地周囲は部分的に住宅に隣接しているが、ほとんどが田畑であるため騒音等の影響は少ない。</li> </ul>
	4 想定工事 ステップ	・仮設校舎建設工期	・造成工事	・新規土地取得事務
		・引越期間	・新築工事工期	・農地転用手続き
		・解体工事	・校庭整備工事期間	・開発行為手続き
		・新築工事工期	・引越期間	・造成工事
		・既存体育館棟改修工事：（新築工事中に実施）		・新築工事工期
・引越期間			・校庭整備工事期間	
5 (参考) 愛知県内中学校建設費	・半田市立乙川中学校(2023年10月竣工予定) 延床面積約9,800㎡ 工事費：約31.2億円(税抜)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市味岡中学校(2017年8月竣工) 延床面積：約12,000㎡ 工事費：約30.1億(税抜)</li> <li>・小牧市小牧南小学校(2019年7月竣工)延床面積：約11,600㎡ 工事費：約42.3億円(税抜)</li> </ul> ※昨今の建設物価及び労務費は上昇傾向となっており、上記参考例と同等の㎡単価で工事ができる保障はない。			

各事業手法比較表

事業手法	概要	実施主体			特質			導入事例
		資金調達 設計建設	維持管理	施設所有	効率的な施設整備	設計・建設費の支出	設計・建設期間	
従来方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計事務所による設計業務完了後、建設会社に建設業務を仕様発注し、建設会社が建設業務を実施する（設計・建設業務の分離発注）。</li> <li>町が基金・一般財源・起債等によって、設計・建設費を調達して、設計事務所、建設会社に支払う。</li> <li>施設の完成後、維持管理会社等に維持管理業務（修繕、設備保守、清掃、警備等）を業務ごとに委託する（維持管理業務の分離発注）。</li> </ul>	町	町	町	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設・維持管理業務を分離して仕様発注するため、民間の技術的能力を活用した効率的な施設整備が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計時や建設時に一度に多額の支出が発生する（起債を活用することで、財政負担を平準化することも可能）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設を分離発注するため、工法を見据えた設計や一貫した工程管理ができず、設計・建設期間の短縮が難しい。</li> </ul>	現豊山中学校
DB方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設会社等に設計・建設業務を一括して性能発注し、建設会社等が設計・建設業務を実施する。</li> <li>町が基金・一般財源・起債等によって、設計・建設費を調達して、建設会社等に支払う。</li> <li>施設の完成後、維持管理会社等に維持管理業務（修繕、設備保守、清掃、警備等）を業務ごとに委託する（維持管理業務の分離発注）。</li> </ul>	町	町	町	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設業務を一括して性能発注するため、設計・建設を通じて民間の技術的能力を活用することで効率的な施設整備が可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計時や建設時に一度に多額の支出が発生する（起債を活用することで、財政負担を平準化することも可能）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設を一括発注するため、一貫した工程管理のもとで設計・建設期間の短縮、新校舎の早期供用が可能となる。</li> </ul>	宗像市立城山中学校 (福岡県)
PFI方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者（事業を実施する特別目的会社）に資金調達・設計・建設・維持管理業務を一括して性能発注し、民間事業者が各業務を実施する。</li> <li>設計・建設費の調達は、全額を民間資金で調達する場合、基金等と民間資金で調達する場合がある。</li> <li>施設を町が所有する場合（BTO方式）と民間事業者が所有する場合（BOT方式）がある。</li> </ul>	民間	民間	町 又は 民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設・維持管理業務を一括して性能発注するため、民間の技術的能力を活用することで効率的な施設整備や維持管理が可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者が設計・建設費を立て替え、町は複数年（15～30年）に渡って分割払いすることで毎年の支出を抑えることが可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設を一括発注するため、一貫した工程管理のもとで設計・建設期間の短縮が可能となるが、民間事業者の選定に時間を要する。</li> </ul>	東郷町立兵庫小学校
リース方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者（リース会社）に資金調達・設計・建設・維持管理業務を一括して性能発注し、民間事業者が各業務を実施し、施設を所有し、町にリース（建物賃貸借）する。</li> <li>リース期間終了後、施設の所有権を町へ移転する場合と施設を解体撤去する場合がある（町へ移転する場合が多い）。</li> </ul>	民間	民間	民間	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設・維持管理業務を一括して性能発注するため、民間の技術的能力を活用することで効率的な施設整備や維持管理が可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者が設計・建設費を立て替え、町は複数年（5～10年）に渡って分割払いすることで毎年の支出を抑えることが可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・建設を一括発注するため、一貫した工程管理のもとで設計・建設期間の短縮が可能となるが、民間事業者の選定に時間を要する。</li> </ul>	名古屋市立菊住小学校

・DB方式：Design Build（デザイン・ビルド）方式の略。設計・施工一括発注方式ともいう。

・PFI方式：Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）方式の略。

・仕様発注：発注者が示す仕様（寸法、面積、材料、工法等）どおりに受注者が建築物等を建設する発注方式。受注者は仕様どおりに建設することになるため、受注者の技術的能力を活用することが難しい。

・性能発注：発注者が求める性能を規定し、受注者はその性能を満足することを要件として建築物等を建設する発注方式。受注者の提案によって、受注者の技術的能力を活用し、効率的な施設整備が可能となる。

## 参考資料 1 意見聴取の目的、実施概要及び聴取結果

豊山中学校の改築に当たり、教職員、生徒、保護者、関係各団体等から、現在の施設に対する認識や、新たな施設に求める事項について意見聴取を実施した。

### 1. 意見聴取実施概要

#### 開催日程

項目	生徒	教職員	保護者	各関係団体	教育経験者
実施日	R3.8.26	R3.8.26	R3.9.8	R3.9.29	R3.10.5
実施場所	豊山中学校 ランチルーム	豊山中学校 ランチルーム	豊山中学校 ランチルーム	豊山町役場 会議室 1	豊山町役場 会議室 3・4
参加者人数	豊山中学校 生徒会執行部 5名	豊山中学校 教職員 8名	豊山中学校 PTA 役員 8名	学校開放関係 団体役員等 12名	元教育委員会 委員 5名

#### 質問項目

##### 【共通】

- ・ 新しい豊山中学校の建設について期待することや大切にしたいこと、目標としたいこと
- ・ 新しい豊山中学校の建設について疑問に思うこと、心配していること等
- ・ 豊山町らしい学校づくりに向け、イメージするキーワード等

##### 【生徒】

- ・ 現在の豊山中学校で好きな場所、嫌いな場所
- ・ 新しい豊山中学校に引継ぎたいもの
- ・ どのような学習環境であれば勉強に集中できるか。
- ・ どのような空間があれば学校生活が楽しくなるか。
- ・ 生徒間での交流を行うためにどのような場所があれば良いか。

##### 【教職員】

- ・ 新しい豊山中学校に引継ぎたいもの
- ・ 快適な学習生活空間を確保し、教育環境の質を向上させるために必要と思われること
- ・ 新しい豊山中学校で重要だと思ふ立地環境
- ・ 教職員が教育に専念できる働きやすい空間についてどのような場所や機能が必要か。
- ・ 防犯対策や学校運営を行う上で、職員室の場所(グラウンドや校門が見えるなど)について
- ・ 新しい豊山中学校で最も充実させたい施設について

##### 【保護者】

- ・ 新しい豊山中学校に引継ぎたいもの
- ・ 子どもたちが安全に学校で生活するために必要と思われること
- ・ 新しい中学校にどのような場所があれば子どもたちの学習意欲が向上すると思うか。
- ・ 保護者が学校を利用する上で、充実させたい機能
- ・ 新しい豊山中学校で最も充実させたい施設



#### 【各関係団体】

- ・ 新しい豊山中学校の学校開放について、求める機能
- ・ 豊山中学校を利用する際の駐車場について

#### 【教育経験者】

- ・ 快適な学習生活空間を確保し、教育環境の質を向上させるために必要と思われること
- ・ 教職員が教育に専念できる働きやすい空間についてどのような場所や機能が必要か
- ・ 学校の防犯対策や学校運営を行う上で、重要な点

## 2. 意見聴取結果

教職員、生徒、保護者、関係各団体等から聴取した意見について、項目別に集約した。

#### 【教室エリア】

共通して学年が1フロアで収まっておらず不便という意見が挙がっていた。また、防犯について懸念する意見もあった。教室の広さや室数、収納スペースの狭さについての意見も挙がっていた。

#### ・ 主な意見

生徒	教室数が不足している。
	教室内のロッカーが不足していて不便である。
	2年生は4クラスあるが、A組だけ離れた位置にある。
教職員	教室が狭い、広さが欲しい。
	二重窓などによる遮熱。明るさ確保。
	教室のロッカーが小さい。出し入れしにくい。
	教育多様化や個別対応ができる教室としたい。
	生徒指導上、1フロア1学年が良い。
保護者	1学年が1フロアに収まるようにしてほしい。
	教室が狭いと思う。参観日には保護者が溢って廊下から参観している。人口の増減を見込んで適切な設計を行ってほしい。
各関係団体	学年で階が固定されるとよい。
	防犯上。1階には教室がない方が良いのかもしれない。
教育経験者	校内盗難防止のため各教室に鍵を設置してほしい。また、外部侵入者対策として割れにくい窓にする。

#### 【特別教室エリア】

特別教室の狭さについての意見が多かった。教職員や教育経験者からは、準備室の狭さと不足についての意見が挙がっており、相応な準備室確保の要望があった。

・主な意見

教職員	特別教室への移動動線の工夫。
	機材備品を置く倉庫があると良い。
	特別教室の準備室が狭い。
保護者	特別教室を広くしてほしい。
教育経験者	特別教室に相応の準備室が無いと授業がやりづらい。

【その他学習関係エリア】

共通して個別で使える学習室や教育相談室等の設置、図書館の個別スペースや資料室などの充実を要望する意見があった。部活動については、各部活の部室や活動室が不足していると生徒からの意見が多くあった。

・主な意見

生徒	生徒会室を広くしてほしい。空調がなくて寒い。
	部活動で使える部屋が少ない。
	図書館とは別に資料室があると良い。教科書以外の資料（歴史、公民、地理など）をいろいろ調べたい。
	テスト週間などに放課後でも使える学習室や自習室があると良い。
	吹奏楽演奏用の部屋があると良い。
	屋上テニスコートからクラブハウスまでが遠い。
教職員	各学年に学年室（教育相談室）が欲しい。
	カウンセラー用の独立した相談室があると良い。
保護者	音楽室が狭く入りきれない。吹奏楽部が全員で合奏できるように広くしてほしい。
	個人のスペースで勉強に集中できるような環境があると良い。例えば図書館のような個別スペース。

【職員室エリア】

入りやすい雰囲気職員室が良いとの意見があった。また、オープンにする範囲は、教職員に十分なヒアリングをしてほしいとの意見があった。

・主な意見

生徒	職員室の入口にワンクッションがあると良い。相談室のようなイメージ。
	圧迫感がある。開かれた雰囲気ではない。
教職員	職員室分室が各階にあるとよい。
	教員の個人情報を扱う端末は、別で事務室があると良い。
	職員室が狭い。現在の職員数は50名程度。
教育経験者	生徒が入りやすい雰囲気職員室があるとよい。
	職員室をオープン化するのは良いが、小学校ではないので、開きすぎるのは中学校では良くないと思う。
	先生の要望を直に聞いてほしい。

### 【管理エリア】

実際に使用している教職員から、会議室や休憩室等の設置、効率的な管理諸室のレイアウトなどの様々な意見があった。

#### ・主な意見

生徒	教材室などがある東の方は、薄暗い雰囲気が好きではない。
教職員	会議室があった方が良い。
	保健室の位置は職員室の近くにしてほしい。
	職員更衣室にシャワーがあると良い。
	サーバー室の書庫や印刷室などは、職員室付近に集約してほしい。
	職員休憩室があると良い。
	体育教官室があるとありがたい。
	男性職員トイレに大便器が1つしかない。

### 【トイレエリア】

共通して、余裕のある明るいトイレを適所に配置し、多様性をふまえたトイレの設置を望む意見が挙がっていた。生徒や保護者からは洋式化や乾式化を望む意見が多かった。各関係者団体と教育経験者は、洋式便器と和式便器については意見が分かれていた。教職員からは、適所に配置と管理のしやすさについて意見があった。

#### ・主な意見

生徒	女子は洋式トイレを増やしてほしい。
	豊山小学校保健室のトイレのような乾式床が良い。
	シャワートイレはどちらでも良い。
	明るいトイレが良い。荷物を置けるスペースがほしい。
教職員	トイレの位置を考慮してほしい。
	トイレは、生徒指導しやすいようにあまり入り組んでいない方が良い。
保護者	トイレを洋式にしてほしい。子ども達が我慢していると聞く。
	トイレ数には余裕をもってほしい。
	今の段階では和式は1つぐらいあった方がよいかもしれないが、10年後は必要ないのではないか。
	便座を拭く消毒液があった方がよい。
各関係団体	体育館のトイレには窓がなく、階段踊場の照明もないため夜間は暗い。
	トイレは臭いけど、和式便器があるのは良いと子どもから聞く。
	男子トイレにカーテンで仕切られている場所があるのはよいと聞く。
教育経験者	洋式が人気すぎて、仕方なく和式を使っていると聞く。
	公園のトイレは和式なので、学校に和式があるとよいのでは。
	学校に和式が無くなれば覚えるということも無くなる。
	会社で和式と洋式あるが、和式はだれも使わない。
	潔癖な子は腰を浮かせて用を足すと聞く。 そのような子は自分で拭く、そこまでのサービスをする必要はないのでは。それを含めて教育することも必要である。

	便利なこともよいが、覚えさせる必要もあるので、あまりに便利にしすぎるのはいかがかと思う。
--	--

### 【運動場】

共通して運動場の狭さについての意見があった。また、各関係団体や他関係者からナイター照明やグラウンドの土、緑地帯などの仕様についての意見があった。

#### ・主な意見

生徒	テニスコートが少ない。最低でも4面欲しい。
	運動場を広くしてほしい。体育祭でも手狭である。
	部活動は、サッカー、野球、テニスが同時利用している。
	屋上テニスコートの屋根が低くロブ練習ができない。
教職員	屋上テニスコートは魅力だが、教員の目の届く場所にあった方が良い。
	グリーンサンドグラウンドは怪我しやすい。土のグラウンドがよい。
	200Mトラックがマウンドに干渉しないように設置できると良い。
	100M直線トラックが余裕を持って取れると良い。
保護者	グラウンドのナイター施設を充実させてほしい。
	テニスコートが少ない。
各関係団体	ナイター照明が暗い。
	グラウンドに日陰がないので、子供が休憩できる場所があるとよい。
	グラウンド内に緑地帯も必要だと思う。熱中症対策。
	現在の中学校の広さでは大人が野球を行うことは難しい。
	グラウンドの土については、水はけのよい土を使って欲しい。砂埃等の問題があるので土の種類などの要望を聞いてもらえると有難い。
教育経験者	運動場が今少し狭いと思う。広くしてもらえると喜ばれるのでは。

### 【体育館】

体育館の狭さや教室からの動線、空調、更衣室の完備を要望する意見があった。利用者目線から器具庫の不足や鋼製建具による事故、防犯上の問題点についての意見も挙がっていた。体育館の観覧席は共通して好印象であった。

#### ・主な意見

生徒	体育館では、1/4 毎に部活動で使用している。
	2階に観覧席があるのが良い。
教職員	体育館移動について、できれば室内で納まるようにしてほしい。
	体育館のフロアが小さめである。正式な大きさのバスケットコートが2面取れると良い。現在はバドミントンコートが取れない。
	砂埃が体育館に入らないように工夫してほしい。
保護者	体育館で行う部活動は1/4 毎のスペースで行っていて狭い。2階建の体育館やエアコン完備、更衣室が別であると良い。(名古屋市内高校の例)
各関係団体	豊山の人々が十分に使えるようにしてほしい。
	体育館の器具庫が狭い。
	体育館は観覧席があり自慢できると聞いている。
	体育館、道路から丸見え、防犯上よろしくないのでは。
	サブの体育館があると良い。

### 【武道場・プール】

武道場は、器具庫の拡充や空調、防音等についての意見が挙がっていた。また、工事期間中の利用についても意見が挙がっていた。プールは、その必要性について意見があった。室内プールについては、好印象であった。

#### ・主な意見

生徒	プールの屋根が開くところが好き。
教職員	室内プールの使い勝手が良い。今後、授業でプールをやらないという話もあるが、屋根付きプールは魅力的である。引き継いでほしい。
保護者	プールは、学校に設置しなくてはならないのか。
各関係団体	工事期間中に練習ができない状況があると困る。
	卓球台置きっ放しなので、倉庫に収納できるとよい。
	柔剣道場、クーラーがついていない。窓を閉めて太鼓を打ちたい。
	音が外に漏れないように対策を取ってほしい。
教育経験者	プールの授業数が多くないのであれば、近隣で借りて授業をやればよいのでは。

### 【共用エリア】

生徒からは、オープンスペースなどコミュニケーションスペースの要望が挙がっていた。教職員からは、多様な生徒に配慮した出入口の設置、不審者対策の意見が挙がっていた。各関係団体からは雨天時を配慮した階段についての意見があった。

#### ・主な意見

生徒	学年を超えた生徒同士で話し合える場所や先生と生徒が話し合え、助け合える場所があるとよい。
	学年を超えて交流できるようなベンチなどがあると良い。大きい部屋とよりは、オープンスペースのイメージが良い。
	豊山小学校のふれあい広場のようなスペースがあると良い。
	体育時の更衣室と共用のため、生徒会室が使えない時がある。更衣室が充実していると良い。
	生き物を飼える場所があると良い。
教職員	下駄箱が小さい。
	学年ごとに階段があると良い。
	教室と手洗いの距離が短いと良い。また手洗いの数も多い方が良い。
	作品の保管スペース、棚などが欲しい。
	共用の掲示板を使いやすくしてほしい。
	昇降口の庇が小さいので、雨の日に生徒が密集する。
	不審者が入りにくい工夫、1階が簡単に施錠できると良い。
各関係団体	雨の日、校舎内の階段が滑りやすい。滑りにくい階段を。

### 【屋外エリア】

駐車場が狭く使いにくいという意見が多くあった。駐車場以外では、大型車両の進入のしやすさ、備蓄倉庫等の防災面、門扉の個数やカメラ等の安全面についての意見があった。植栽については、教育経験者からは記念樹などの緑地化について意見があった。一方で、管理面での懸念について望まないという意見もあった。

#### ・主な意見

教職員	駐車場に余裕がほしい。区画が狭い。
	屋外にも多目的トイレを設置してほしい。
	ゴミ集積場が校内にあると良い。
	門は少ない方が管理がしやすい。
	中型バスが入れるぐらいの大きな門があると良い。
	現在、花壇がきちんと整備されており、雑草等の管理がしやすい。
保護者	緊急時の大型車両が入り難い。門が簡単に開かない。道幅も狭い。
	安全な通学路を。歩車分離、ガードレール、路側帯などの検討。
	防犯カメラは必須。不審者が簡単に入れないように配慮してほしい。
	防災面で備蓄する場所が狭い。
	駐車場が狭い。



各関係団体	グラウンド、体育館、利用が重なると駐車場がない。
	駐車場が暗く段差がある。安全上改善してほしい。
	消防車等の大型車両がグラウンドに入れるような門扉にしてほしい。道路が狭いので危ない。
	防護ネット等ドクターヘリの対応も検討した方が良いのでは。
	他校からくる際の駐輪場がない。屋根付の駐輪場がほしい。
	防犯カメラは必要である。
	避難訓練や消火活動に使える 60 mm のホースの取口を設置してほしい。
教育経験者	最近では送り迎えをする親が多いが、道が狭く駐車場所がわかりにくい。
	不登校の子が車を駐めて、車から降りる時間を待っている場所がない。
	登校時の安全上、教職員の駐車場は敷地外でもよいのでは。
	たくさん防犯カメラを設置するとよい。
	植栽は管理が大変なので望まない。
	モニュメントや記念樹はあっても良い。緑があると子どもにはよい。

#### 【什器・備品】

生徒からは、大きい机を望む意見があった。教職員からは、タブレットの有効利用についての意見があった。

##### ・主な意見

生徒	タブレットを使うことによって荷物が置けない。大きい机の方が良い。
教職員	タブレットを投影するモニターなどの環境を各クラスにほしい。
	各教室でタブレットを活用できるようにしたい。
	I C T で大型モニターを各室に欲しい。

#### 【設備機器】

体育館などの空調、IT 環境の充実とそれに伴う通信環境の整備などについての意見があった。また、生徒からエレベーターについて、広さが十分ではないという意見があった。教育経験者からは、防犯システムの構築についての意見があった。

##### ・主な意見

生徒	大きな楽器などが乗る広めのエレベーターがあると良い。
教職員	体育館にも空調がほしい。
	内線電話の設置位置の工夫を。または、職員の P H S 携帯など。
	緊急放送を各教室につけられないか。
	室外機の設置位置に配慮を。騒音や廃熱対策。
	I C T を取り入れた時、通信しやすい環境にしてほしい。
保護者	避難所として考えるのであれば、体育館に空調を。太陽光発電の導入。
	IT 環境の充実をしてほしい。自宅学習などオンライン授業などの検討。
	武道場にもエアコンがあると良い。

	授業参観を WEB でできると良い。
教育経験者	学校開放部も考慮した防犯システムの構築を望む。
	夜間など不在時に、防犯カメラのデータの管理が出来る则と良い。

### 【地域開放スペース】

積極的な地域開放を求める意見が多かった。一方で、学校開放をした際の学校側の負担についての懸念があった。

#### ・主な意見

保護者	現在は授業参観や運動会程度である。もっと子どもや中学校を見たい。
	楽器を触ったり、ボールに触る、魚を捌くなどの体験ができ、みんなと共有できる施設があるとよい。キャリア形成にも繋がる。
	体育館や運動場の地域開放は良い。大人も施設が借りれると良い。
	駐車場があるとよい。参観日は、徒歩や自転車でを行っている。
	PTA が集まって自由に活動できる部屋があるとよい。
各関係団体	高齢者にも使い易いように配慮してほしい。
	誰でも使える施設であってほしい。
	他と同じようなものではつまらないので良いものにしてほしい。
	昼間に使用していない部分の開放ができると良い。図書室開放など。
	音を出すクラブが多いので防音室が欲しい。
	学校開放は有難いが、先生方の負担が増えないか心配である。
	地域開放されている施設は地域毎にあるので無くても構わない。
	地域用の倉庫があると良い。
	ジュニアリーダーの活動（訓練や会議）が中学校で出来ると良い。
位置が中央にあってみんなが集まれる場所になるとよい。	
教育経験者	図書館を町民にオープンするのもよい。
	自主ボランティア、ガードマン、ボランティアでやってもらったらどうか。
	見守り隊。青山では登下校時にやっている。

### 【新しい豊山中学校の建設に関して】

共通して、建設中の学校生活への影響、建替位置、建替中の不安、問題点などの意見があった。また、地域や全学校とのコミュニケーションや防災面、安全面の配慮、開かれた学校などについて意見があった。

#### ・主な意見

生徒	建設工事中の学校生活にどのような影響があるか気になる。
教職員	学力向上のための教育環境を整えてほしい。
	運動施設の充実を。
	事務室系を充実してほしい。
	生徒が朝来てから帰るまでの動線を考えて整備してほしい。

保護者	地域住民に使ってもらえる施設が良い。
	避難所機能の充実を図ってほしい。また、快適な環境であってほしい。
	建替え中の生徒の学ぶ場所や建替位置が心配である。
	安心、安全第一。最近不審者の情報が多くなっている。
	車椅子の子がケガをしないようバリアフリーに配慮してほしい。
各関係団体	建設中でも施設利用の予約が取れるようにしてほしい。
教育経験者	学習面、身体を鍛える、人間形成がきちっとできるように。
	既設体育館を有効活用できるか検討が必要である。
	全学校がコミュニケーションの取れる学校ができればまとも良い。
	同じ敷地内に作った場合、運動場が使えなくなる。
	耐震を考慮した上で、暖かみがある建物を希望する。
	閉鎖的にならず、綺麗に保てるようにし、見通しよくすることが大事。
	在学中に今の体育館のところで工事をしており、とてもうさかった。

### 【豊山町らしさ】

共通して飛行機、空港、イチローのイメージが多い。また、スポーツが活発、ほどよく自然が残っており生活がしやすい等の意見があった。

#### ・主な意見

生徒	昔は水が綺麗だったイメージ。空港。三菱重工。
教職員	飛行機、イチロー
	体育館、グラウンド、プールが充実しており、スポーツで盛り上げる町。
保護者	飛行機、北部市場、田んぼなどほどよく自然が残って生活しやすい。
	空港、イチロー
各関係団体	飛行場ができて今に至る精神は残してほしい。
	空港のまち、飛行機のまち。校歌にもある。
	これからの豊山町を見据えて、新しい豊山町のイメージを提示しては。
	先輩達が活発である。
教育経験者	名古屋の隣だが、田舎の良さが残っている。アーバンビレッジとして両方の良さを活かされるようなものにしてほしい。
	イチローと飛行機。イチローに教壇に立ってもらったり、飛行機の授業や講義などがあっても良い。施設面でそれらを打ち出せると良い。
	親しみの持てる、暖かみのある、前向きに羽ばたくイメージを希望。
	田んぼや緑が減っていて、コンクリートというイメージ。校舎に色を入れたり一部木造にするなど暖かみがあると良い。

### 【豊山中学校らしさ】

生徒や教職員からは、部活動が盛んで特に運動系が充実しているという意見が多かった。その他、子どもは挨拶もでき礼儀正しい、卒業後も遊びに行ける、建物が目印となっているという意見などがあつた。

・主な意見

生徒	部活動が盛んで力を入れている。運動系が多く充実している。
	飛行機がうるさい。
教職員	全天候型プール
	部活動を頑張っているのが豊山中。
	県内で豊という文字を使う唯一の町が豊山町である。世界で活躍する人も出ている。町で1つの中学校という面を押し出す。
	豊山グラウンドは野球少年・野球ファンのがれ場所となっている。野球部は全然知らない方からも応援をしてもらっている。
保護者	他の学校と比べると全てが狭い。
	子どもが礼儀正しい。あいさつが出来る。
各関係団体	現在の中学校は、幹線道路沿いなので目印になっている。
	在学中も卒業後も学年関係なく仲がよい。
	卒業後も学校に遊びに行ける、そういう雰囲気は豊山町のよいところ。
教育経験者	建物のどこかに飛行機のデザインを取り入れてはどうか。外部のレンガに色を入れるなど。

---

## 参考資料2 町民アンケート概要及びアンケート結果

「目指すべき中学校のあり方」を検討するにあたり、構想会議委員からの意見及び各種意見聴取結果を基に作成した教育委員会の考え方について、町民の皆さまの意見を一層反映させるため、アンケートを実施した

### 1. アンケート実施概要

調査対象 小学校区ごとに無作為抽出した中学生以上の町民 2,000 名

調査方法 郵送による配布・回収

調査期間 令和4年2月4日（金）から2月20日（日）まで

質問内容 次の項目により、選択により回答を得た（自由記述項目あり）

問1 居住地区

問2 年齢

問3 改築計画の認知度

問4 生徒の学習環境の質的向上を図るために、特に力をいれてほしいもの

問5 生徒の学習生活空間や学習環境に配慮するために、特に力をいれてほしいもの

問6 地域コミュニティの拠点として、特に力をいれてほしいもの

問7 安全安心な施設環境を確保するため、特に力をいれてほしいもの

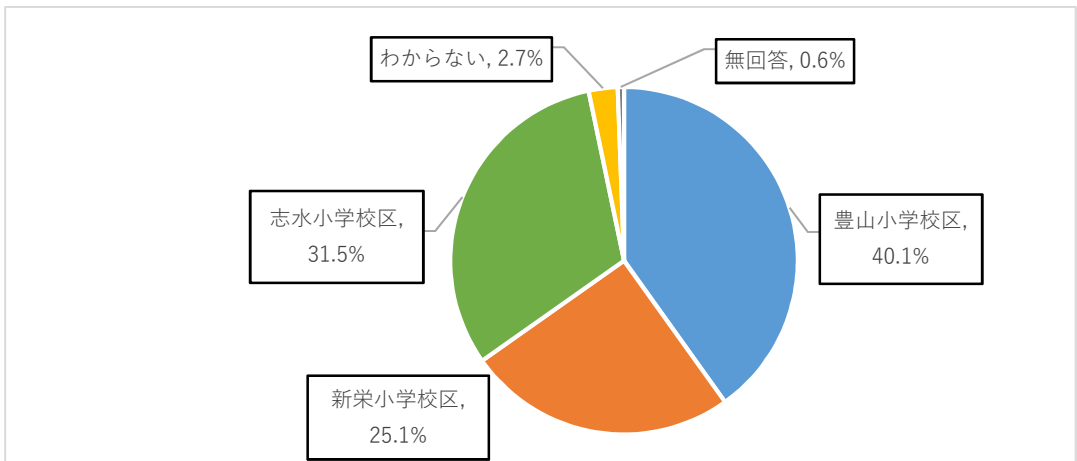
問8 工事期間中の生徒・住民の皆さまへの負担をできる限り軽減するために、特に力をいれてほしいもの

問9 豊山中学校改築への自由意見

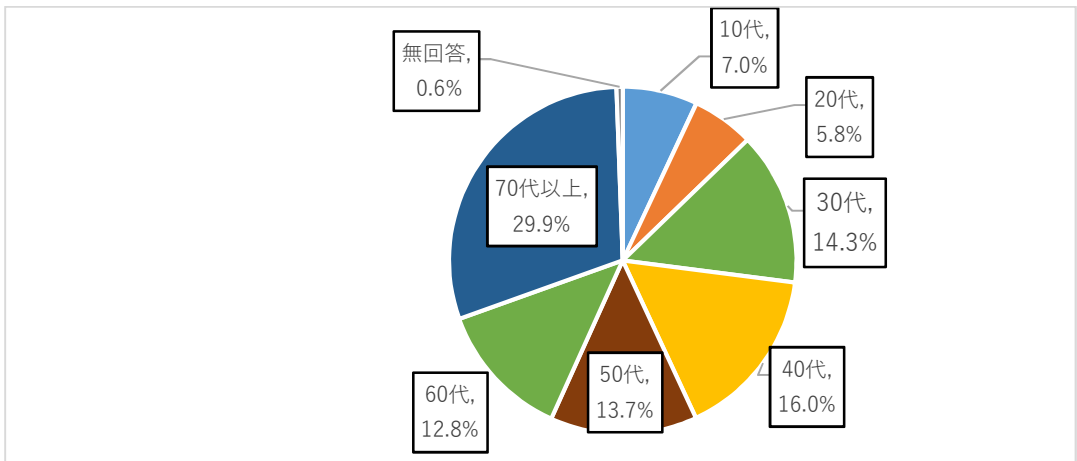
## 2. アンケート結果

回答者 673 名 (回収率 33.65%)

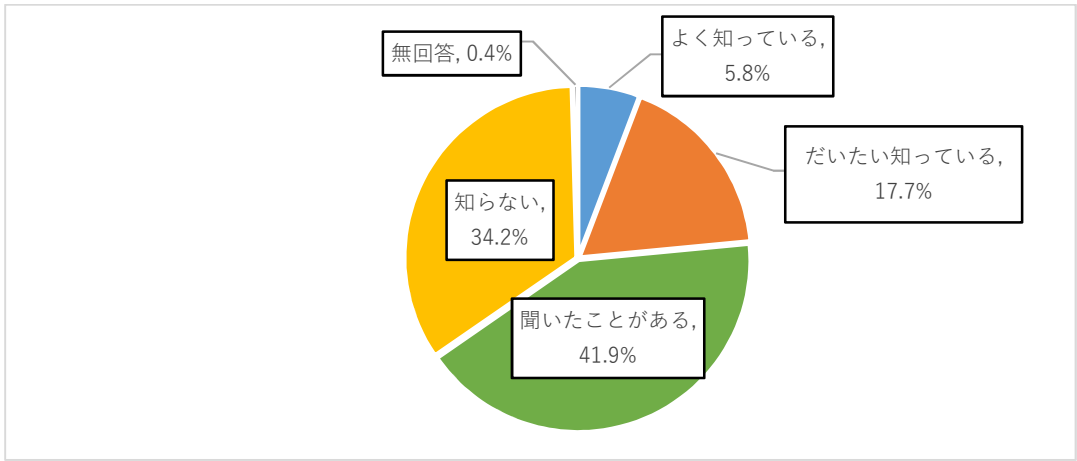
問 1. あなたのお住いはどの小学校区にありますか。



問 2. あなたの年齢について教えてください。

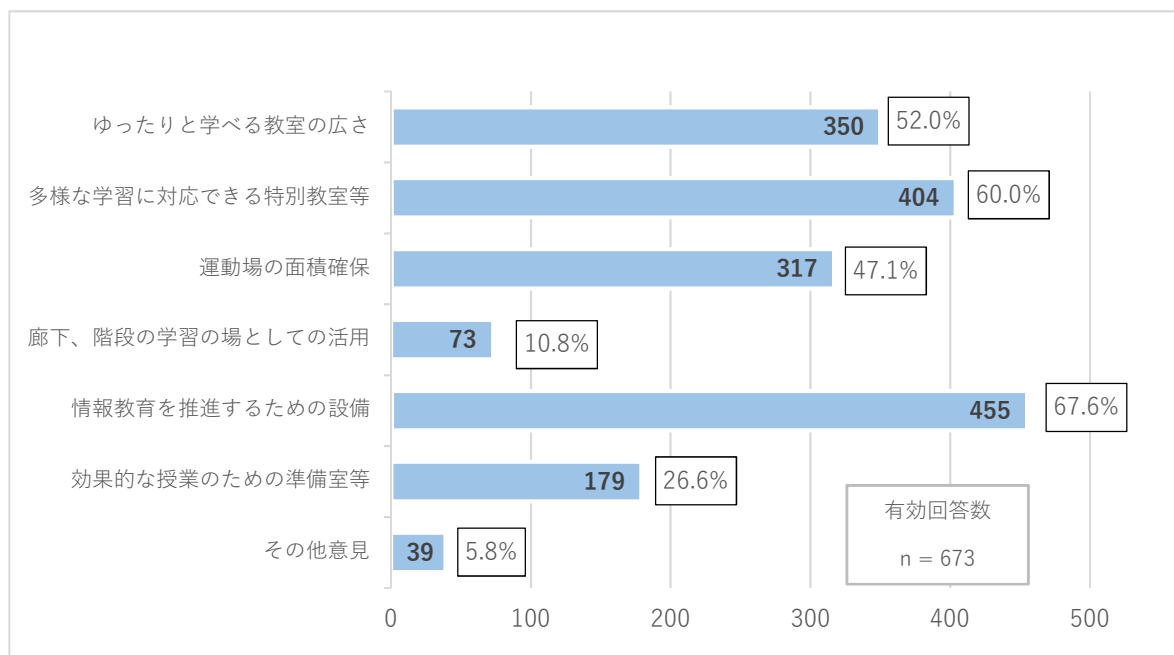


問 3. 豊山中学校を改築する計画があることについてご存知ですか。





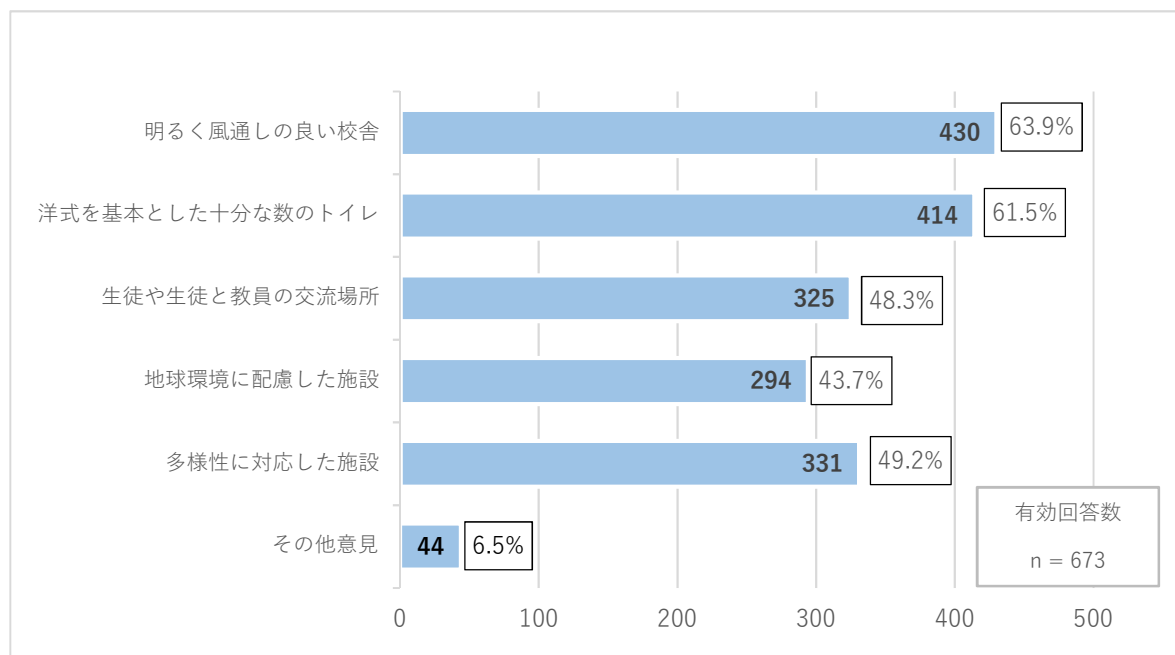
問4. 生徒の学習環境の質的向上を図るために、特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。



○その他意見（39件）の例 ※複数意見のみを掲載、（ ）内は同様意見の件数

- ・教員の質を向上させてほしい。（4件）
- ・感染症対策を充実してほしい。（2件）
- ・防音対策を充実してほしい。（2件）
- ・ロッカーの大きさを十分に確保してほしい。（1件）
- ・教員を増員してほしい。（1件）
- ・教員の負担を軽減してほしい。（1件）
- ・冷暖房設備を充実してほしい。（1件）
- ・トイレ環境を改善してほしい。（1件）
- ・タブレットを積極的に活用してほしい。（1件）
- ・部活動の種類を増やしてほしい。（1件）

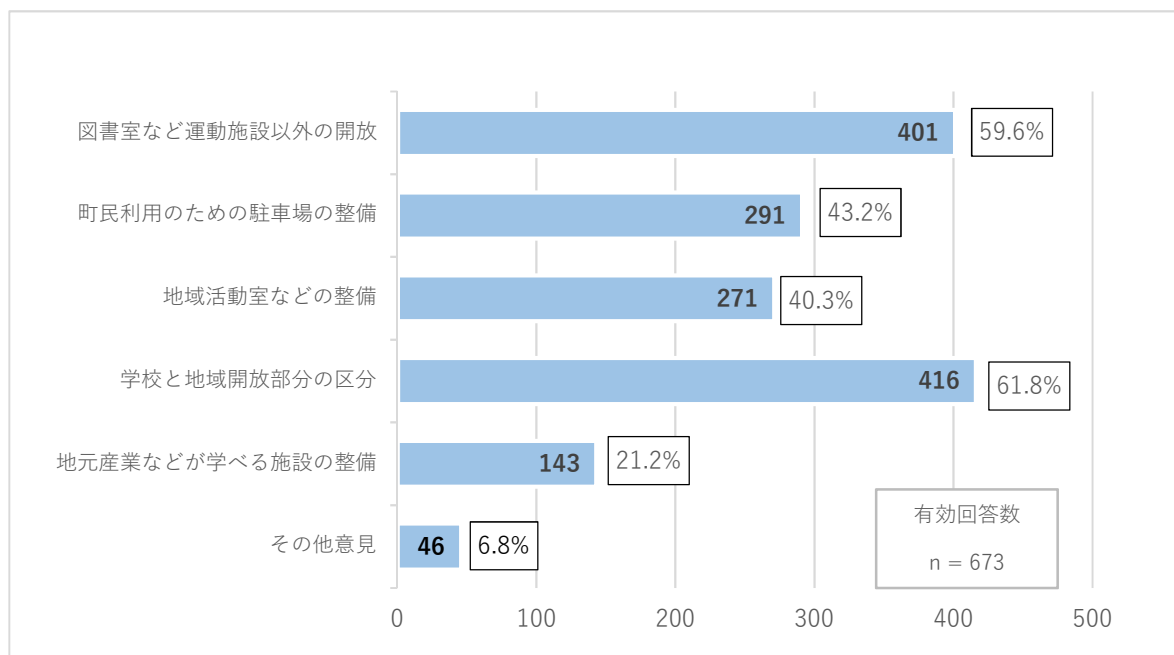
問5. 生徒の学習生活空間や学習環境に配慮するために、特に力をいれてほしいものを 3つまで選んでください。



○その他意見（44件）の例 ※複数意見のみを掲載、（ ）内は同様意見の件数

- ・空調設備を充実してほしい。（9件）
- ・トイレ環境を改善してほしい。（7件）
- ・和式便器を残してほしい。（2件）
- ・多様性へ十分配慮してほしい。（1件）
- ・生徒用ロッカーを充実してほしい。（1件）
- ・すべての項目が重要である。（1件）

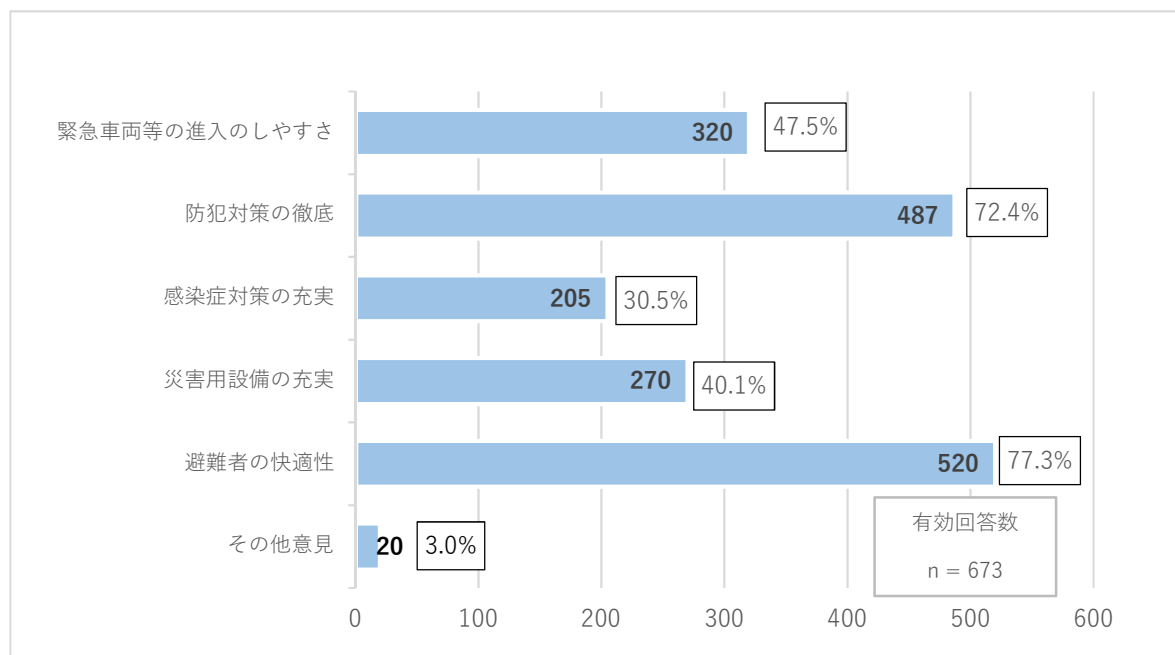
問 6. 学校施設は、生徒の学びの場だけではなく、地域コミュニティの拠点としても位置づけられます。特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。



○その他意見（46件）の例 ※複数意見のみを掲載、（ ）内は同様意見の件数

- ・中学校を地域コミュニティの拠点とする必要はない。（11件）
- ・避難所としての機能を充実してほしい。（4件）
- ・世代を問わないコミュニティづくりの場所となってほしい。（3件）
- ・学校開放時のセキュリティを強化してほしい。（1件）
- ・防災倉庫や災害用の備蓄を充実してほしい。（1件）
- ・保護者用駐車場の整備してほしい。（1件）

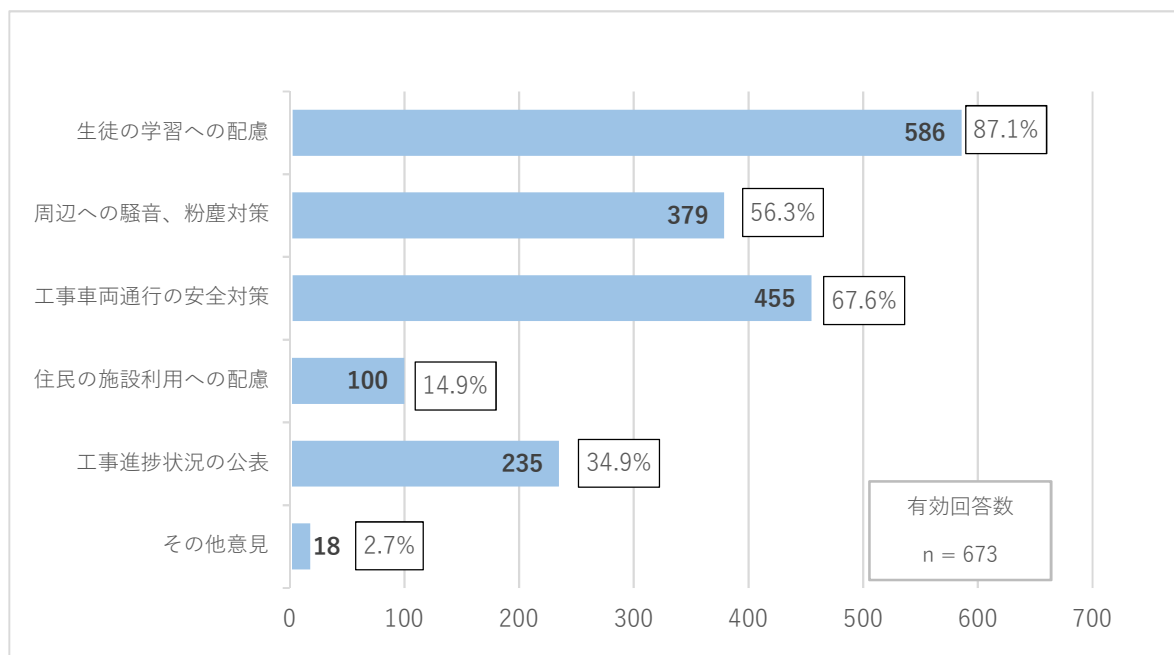
問7. 安全安心な施設環境を確保するため、特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。



○その他意見（20件）の例 ※複数意見のみを掲載、（ ）内は同様意見の件数

- ・部外者が侵入できないよう入口などを工夫してほしい。（2件）
- ・緊急時を想定した基本的インフラを整備してほしい。（1件）
- ・地震対策を充実してほしい。（1件）
- ・校舎内に監視カメラを設置してほしい。（1件）
- ・すべての項目が重要である。（1件）

問 8. 工事期間中の生徒・住民の皆さまへの負担をできる限り軽減するために、特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。



○その他意見（18件）の例 ※複数意見のみを掲載、（ ）内は同様意見の件数

- ・生徒の学習の保障を優先してほしい。（4件）
- ・事故の無いように工事をしてほしい。（3件）
- ・すべての項目が重要である。（2件）

---

問9. その他豊山中学校改築に当たり、ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

○自由意見（318件）の例 ※複数意見のみを掲載、（ ）内は同様意見の件数

（多様な学習形態への対応に関するご意見）

- ・生徒用ロッカーを充実してほしい。（4件）
- ・生徒が伸び伸びと運動できる学校にしてほしい。（4件）
- ・使いやすい勉強机にしてほしい。（2件）
- ・オンライン学習を充実してほしい。（2件）
- ・ICT環境を充実してほしい。（2件）
- ・体育館の設備を充実してほしい。（2件）
- ・十分な広さの運動場を整備してほしい。（2件）
- ・生徒の個性を引き出す教育をしてほしい。（2件）
- ・図書室を充実してほしい。（1件）
- ・吹奏楽部の活動場所を充実してほしい。（1件）
- ・運動場は人工芝にしてほしい。（1件）

（特色ある教育環境に関するご意見）

- ・魅力ある建物にしてほしい。（6件）
- ・外部コーチなどを導入し、部活動を充実させてほしい。（1件）

（生徒数に対応した空間の確保に関するご意見）

- ・ゆとりのある学習環境を整備してほしい。（4件）

（働きやすい執務環境に関するご意見）

- ・教員が使いやすい施設を整備してほしい。（4件）

（快適な学習生活空間に関するご意見）

- ・生徒が快適に過ごせる学校にしてほしい。（8件）
- ・冷暖房設備を充実してほしい。（4件）
- ・トイレ環境を改善してほしい。（3件）
- ・教員と生徒がコミュニケーションを取りやすい学校にしてほしい。（3件）
- ・生徒が十分に学習できる学校にしてほしい。（2件）
- ・生徒の動線を考慮した施設にしてほしい。（2件）
- ・見通しのよい校舎にしてほしい。（1件）
- ・明るく、広い校舎にしてほしい。（1件）

（環境への配慮に関するご意見）

- ・木材を利用したあたたかみのある学校にしてほしい。（4件）



- 
- ・緑化を推進してほしい。(2件)

(だれもが使いやすい学校に関するご意見)

- ・バリアフリー設備を充実してほしい。(2件)
- ・個別の配慮を必要とする生徒が利用できる部屋を整備してほしい。(1件)

(中学校と地域の連携・協働に関するご意見)

- ・生徒、教職員と町民が交流できる学校にしてほしい。(2件)
- ・地域のコミュニティ機能の充実と同時に、セキュリティ面の充実の大切である。(2件)
- ・地域コミュニティ施設よりも、生徒の安全・安心を優先して考えてほしい。(2件)
- ・町民のコミュニティの場を併設してほしい。(1件)
- ・地域コミュニティ機能も大切だが、生徒の学習環境を優先してほしい。(1件)
- ・保護者用駐車場を整備してほしい。(1件)

(地域開放、地域施設との複合に関するご意見)

- ・中学校のプールを開放してほしい。(1件)
- ・町民プールを作してほしい。(1件)
- ・記念樹などは残してほしい。(1件)

(災害に対応した学校に関するご意見)

- ・防災設備や機能を充実してほしい。(6件)
- ・避難所としての設備を充実してほしい。(5件)
- ・老朽化しているのであれば早急に改築してほしい。(2件)

(日常の安全性確保に関するご意見)

- ・安全な通学路を確保してほしい。(5件)
- ・日常の安全確保のためのシステムを充実してほしい。(1件)
- ・周辺道路を広くしてほしい。(1件)
- ・感染症対策を充実してほしい。(1件)

(計画的な整備、敷地利用の効率化に関するご意見)

- ・改築場所は現在の場所がよい。(18件)
- ・改築というのは、現地建替ということか。(5件)
- ・移転改築してほしい。(4件)
- ・もう少し詳しい説明がないと敷地についての意見を出せない。(4件)
- ・いつ工事をするのか知りたい。(4件)
- ・自転車通学を認めてほしい。(3件)
- ・将来を見据えた施設整備をしてほしい。(3件)

- 
- ・無駄な費用がかからないようにしてほしい。(3件)
  - ・町の中心部に建ててほしい。(2件)
  - ・通学距離を考慮してほしい。(2件)
  - ・工事中の生徒への安全確保に留意してほしい。(2件)
  - ・改築場所は、よく考えて決めてほしい。(1件)
  - ・生徒と住民の生活に支障が無い学校にしてほしい。(1件)
  - ・日当たりが悪くならないようにしてほしい。(1件)

(維持管理に配慮した施設計画に関するご意見)

- ・維持管理がしやすい施設にしてほしい。(2件)
- ・外観より機能性を重視してほしい。(1件)

(その他のご意見)

- ・中学校の改築についての情報を広報してほしい。(8件)
- ・教員の質を向上させてほしい。(5件)
- ・生徒のことを優先して整備してほしい。(4件)
- ・生徒、教職員の意見を重視してほしい。(4件)
- ・校則を見直してほしい。(2件)
- ・最新の設備を導入してほしい。(1件)

《目指すべき中学校のあり方に関する町民アンケート》

現在の豊山中学校は、平成 31 年に策定した「豊山町学校施設改築・長寿命化計画」では、老朽化のため改築が必要とされています。そのため、今年度から専門家による構想会議を立上げ、生徒や保護者、地域の関係団体の皆さまから意見聴取を行うなど、新しい豊山中学校をつくるための「目指すべき中学校のあり方」を検討しています。

豊山中学校の改築に町民の皆さまのお声を一層反映させるために、小学校区ごとに無作為抽出した中学生以上の町民合計 2,000 人を対象にアンケートを実施させていただきます。

ご多忙のところ、恐縮ではございますが、このアンケートへのご協力をいただきますようお願いいたします。

豊山町教育委員会

ご記入にあたってのお願い

設問ごとの回答方法をよくご確認のうえ、あてはまる項目に✓をつけたり、自由にご記入をお願いします。

この調査票は、**令和4年2月20日(日)まで**にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。切手は不要です。

ご不明な点がございましたら、次の連絡先までお問合せください。

豊山町教育委員会事務局学校教育課学校教育係

TEL：28-2211 FAX：29-1177

E-mail: gakkokyoiku-ka@town.toyoyama.lg.jp

問1. あなたのお住いはどの小学校区にありますか。

- 豊山小学校区    志水小学校区    新栄小学校区  
わからない

問2. あなたの年齢について教えてください。

- 10代    20代    30代    40代  
50代    60代    70代以上

**問3. 豊山中学校を改築する計画があることについてご存知ですか。**

- よく知っている                      だいたい知っている  
聞いたことがある                      知らない

**問4. 生徒の学習環境の質的向上を図るために、特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。**

- 教室の広さを十分に取り、ゆったりと落ち着いて学べるようにする。  
色々な学習に対応できるよう、特別教室や図書室などを充実させる  
生徒がのびのびと運動できるよう運動場の面積を確保する。  
廊下、階段など幅を広げ、学習の場としての機能をもたせる。  
情報教育を推進するために通信環境やモニターの整備を充実する。  
教員が効果的に授業を行うため、準備室や学年室などの施設を充実する。  
その他のご意見

**問5. 生徒の学習生活空間や学習環境に配慮するために、特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。**

- 明るく風通しの良い校舎を整備する。  
トイレは洋式を基本とし、十分な便器数を整備する。  
生徒同士や、生徒と教職員が交流できる場所を整備する。  
省エネ対策など地球環境に配慮した学校施設を整備する。  
バリアフリーやユニバーサルデザイン、多様性に対応した施設を整備する。  
その他のご意見

**問6. 学校施設は、生徒の学びの場だけではなく、地域コミュニティの拠点としても位置づけられます。特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。**

- 体育館や運動場などの運動施設に加え、図書室なども生涯学習施設として町民に開放する。
- 町民が学校を利用する際の駐車場を整備する。
- 町民が利用できる地域活動室やボランティアルーム等を校舎内に整備する。
- セキュリティ確保のため、学校と地域開放部分との区分を明確にする。
- 地元の産業や歴史が学べる施設を整備する。
- その他のご意見

**問7. 安全安心な施設環境を確保するため、特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。**

- 緊急車両が通れる門の広さ、周辺道路からの進入のしやすさに配慮する。
- フェンスやカメラの設置など、防犯対策を徹底する。
- 十分な数の手洗い場を設置するなど、感染症対策を充実する。
- 防災倉庫などの災害用設備を充実する。
- 災害による避難時も避難者が不便なく過ごせる設備を設置する。
- その他のご意見

**問8. 工事期間中の生徒・住民の皆さまへの負担をできる限り軽減するために、特に力をいれてほしいものを3つまで選んでください。**

- 生徒の学習に支障の無いよう配慮する。
- 住民の生活に支障の無いよう騒音、粉塵などの環境に配慮する。
- 工事車両の通行など安全に生活できる環境に配慮する。
- 学校開放など住民の学校施設の利用に支障の無いよう配慮する。
- 工事の進捗状況がわかるよう定期的に公表する。
- その他のご意見

**問9. その他豊山中学校改築に当たり、ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。**

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



## 参考資料3 豊山町中学校施設整備基本構想会議設置要綱等

### 1. 設置要綱

(設置)

第1条 豊山町立豊山中学校(以下「中学校」という。)の改築に当たり、適正な学習環境の確保を始め、財政負担、整備手法、将来のまちづくりの観点等から、目指すべき中学校のあり方について専門的かつ幅広く議論するために、豊山町中学校施設整備基本構想会議(以下「構想会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 構想会議は、中学校の改築及び整備に関する次の事項について検討し、又は協議する。

- (1) 学習環境の質的向上に関すること。
- (2) 快適な学習生活空間・環境への配慮に関すること。
- (3) 地域コミュニティの拠点形成に関すること。
- (4) 安全・安心な施設環境の確保に関すること。
- (5) 財政負担を軽減する効率的な施設・運営に関すること。
- (6) その他中学校の改築及び整備に関し必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 構想会議は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、豊山町教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学校建築に関する知識・経験を有する者
- (2) 学校経営に関する知識・経験を有する者
- (3) 生涯学習に関する知識・経験を有する者
- (4) 都市計画に関する知識・経験を有する者
- (5) 防災に関する知識・経験を有する者
- (6) 福祉に関する知識・経験を有する者
- (7) 学校の管理・運営に関する知識・経験を有する者
- (8) 豊山町民を代表する者
- (9) 中学校生徒の保護者を代表する者
- (10) 前各号に掲げる者のほか教育委員会が必要と認めるもの

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から中学校の改築が終了する日までとする。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 構想会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、構想会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

---

(構想会議)

第6条 構想会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 構想会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開催することができない。

3 構想会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

4 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を構想会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(公開)

第7条 構想会議は、公開とする。ただし、会議の適正な運営に著しい支障があると会長が認めるときは、非公開とすることができる。

(庶務)

第8条 構想会議の庶務は、教育委員会事務局学校教育課において処理する。

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、構想会議に必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

## 2. 委員名簿

選出区分	氏名	所属・職
学校建築及び都市計画に関する知識・経験を有する者	鈴木 賢一	名古屋市立大学芸術工学研究科 教授
学校経営に関する知識・経験を有する者	武者 一弘	中部大学人間力創成総合教育センター 教授
	風岡 治	愛知教育大学教育学部 教授
生涯学習に関する知識・経験を有する者	前田 治	愛知学泉大学家政学部 教授
防災に関する知識・経験を有する者	鈴木 森晶	愛知工業大学工学部 教授
福祉に関する知識・経験を有する者	池山 和徳	社会福祉法人豊山町社会福祉協議会 会長
学校の管理・運営に関する知識・経験を有する者	篠田 弘男	豊山中学校 校長
豊山町民を代表する者	水野 晃	豊山町議会 議長
中学校生徒の保護者を代表する者	小川 晃永	豊山中学校 PTA 顧問

(敬称略)

### 3. 検討の経緯

会 議	開催月日	協議内容等
第1回	令和3年 6月28日	1. これまでの経緯と現状 2. 今後の協議事項と日程
第2回	令和3年 8月4日	1. 目指すべき中学校のあり方について－論点整理－ 2. 意見聴取の実施について
第3回	令和3年 9月1日	1. 今後の日程について 2. 目指すべき中学校のあり方について－意見交換－
第4回	令和3年 10月6日	1. 第3回構想会議における委員意見について 2. 意見聴取について 3. 目指すべき中学校のあり方について－意見交換－
第5回	令和3年 11月24日	1. 意見聴取結果について 2. 目指すべき中学校のあり方について－中間まとめに向けて(案) －
第6回	令和3年 12月27日	1. 目指すべき中学校のあり方について－中間まとめ(案)－ 2. 町民アンケートについて
第7回	令和4年 3月28日	1. 町民アンケート結果について 2. 目指すべき中学校のあり方について－最終まとめ案－
第8回	令和4年 6月29日	1. 目指すべき中学校のあり方について－最終まとめ案－

目指すべき中学校のあり方

令和4年8月

担当 豊山町教育委員会事務局学校教育課

〒480-0292 愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字新栄 260

電 話 0 5 6 8 - 2 8 - 2 2 1 1

F A X 0 5 6 8 - 2 9 - 1 1 7 7